

Linux Mint ユーザーズガイド



Linux Mint
MATE エディション

目次

LINUX MINT の概要.....	4
歴史.....	4
目標.....	4
バージョン番号とコードネーム.....	5
エディション.....	6
手助けを受けられる場所.....	7
LINUX MINT のインストール.....	8
ISO イメージのダウンロード.....	8
TORRENT を使う場合.....	9
Torrent クライアントのインストール.....	9
Torrent ファイルのダウンロード.....	9
ダウンロードミラーを使う場合.....	10
リリースノートを読みましょう.....	10
MD5 の確認.....	10
DVD に ISO を書き込む.....	12
LINUX MINT を LIVE 起動する.....	13
ハードディスクに LINUX MINT をインストール.....	14
ブートシーケンス.....	23
LINUX MINT デスクトップ入門.....	25
MATE デスクトップ.....	25
デスクトップ設定.....	25
LINUX MINT メニューについて.....	26
“Places”メニュー.....	26
“System”メニュー.....	30
“Applications”メニュー.....	35
“Search”フィールド.....	37
お気に入りアプリケーションの登録.....	38
ショートカットの作成.....	38
ログイン時に自動的にアプリケーションを起動.....	38
メニューの見た目を変更する.....	39
RECENT プラグインの有効化.....	41

初期設定に戻す.....	41
LINUX MINT メニューを初期状態の MATE メニューに変更する.....	41
<u>ソフトウェア管理.....</u>	42
LINUX MINT におけるパッケージ管理.....	42
SOFTWARE MANAGER を使う場合.....	48
メニューを使う場合.....	48
SYNAPTIC と APT を使う場合.....	49
アプリケーションの削除.....	50
メニューを使う場合.....	50
APT を使う場合.....	51
SYNAPTIC を使う場合.....	51
システムとアプリケーションのアップデート.....	51
UPDATE MANAGER の使い方.....	52
<u>ヒントとテクニック.....</u>	57
マウスを使ったコピー&ペースト.....	57
TOMBOY を使ってメモを取る.....	58
<u>終わりに.....</u>	62

Linux Mint の概要

Linux Mint は典型的な x86 と x64 パーソナルコンピュータを含む多くの最新システム用に開発されたコンピュータオペレーティングシステムです。

Linux Mint は Microsoft 社の Windows、Apple 社の Mac OS、フリーの BSD OS の代替になると考えられています。Linux Mint は他のオペレーティングシステム(上に挙げた OS を含む)と共存することを目標に開発され、インストール中に“デュアルブート”または“マルチブート”環境を自動的に構築します(ユーザはコンピュータのスタート時に起動するオペレーティングシステムを選択できるようになります)。

Linux Mint は個人と企業向けの素晴らしいオペレーティングシステムです。

歴史

Linux Mint は 2006 年から開発が続いている非常に現代的なオペレーティングシステムです。しかしながら Linux Mint は Linux カーネル、GNU ツール、MATE デスクトップ等の十分に成熟し動作実績があるソフトウェアを利用して作られています。さらに、Ubuntu と Debian プロジェクトを基にしており、そのシステムをベースにして開発されています。

Linux Mint プロジェクトは、普通のユーザが日常の作業をより便利で効率的に行うことができるデスクトップを作ることを目標としています。デスクトップを支えるオペレーティングシステムは利用可能なソフトウェアに対する大量の修正と非常に便利なソフトウェアを提供します。

Linux Mint の利用人口は急成長を遂げ、ますます多くの人が Linux Mint を毎日利用するようになっていきます。

目標

Linux Mint の目標は、個人と企業ユーザが無料で使える、可能な限り効率的で簡単で洗練されたデスクトップ向けオペレーティングシステムを提供することです。

Linux Mint プロジェクトの目標の一つに、ユーザが先進的な技術を簡単に利用できて、行き過ぎた単純化をせず、他の開発者が取っている方法を手本にする、最高のオペレーティングシステムを開発する、ということがあります。

プロジェクトの最終目標は開発チームの考える理想的なデスクトップを開発することです。開発チームは Linux の持つ多くの最新技術をまとめ上げ、ユーザが多くの先進的機能を簡単に利用できるようにすることが最善であると考えています。

バージョン番号とコードネーム

Linux Mint のバージョン番号とコードネームは以下の珍しいロジックに従います:

- コードネームは Linux Mint のバージョンに対応し、バージョン番号よりもわかりやすいです。
- バージョン 5 から 17 までは、Linux Mint は 6 ヶ月に 1 回の頻度で定期的にリリースされ、単純なバージョン番号を使用しました。バージョン番号は 6 ヶ月に 1 ずつ増加しました。
- 一部のリリースに対する改訂版(Windows のサービスパックのようなもの)のバージョン番号は小数点以下に付けられていました。例えば“3”に対する改訂版は“3.1”のようになります。
- Linux Mint 17 “Qiana” 以降では、2 年ごとにリリースされる Ubuntu の長期サポート版をベースにすることから、バージョン番号は 6 ヶ月に 0.1 ずつ増加し、2 年で 1 ずつ増加することになりました。
- Linux Mint のコードネームは“a”で終わる女性の名前から採られます。コードネームをバージョン順に並べるとアルファベット順になり、アルファベット順で数えた場合コードネームの頭文字が出現する番号がバージョン番号に対応します。

今までに Linux Mint は以下のコードネームを使用しました:

バージョン	コードネーム
1.0	Ada

2.0	Barbara
2.1	Bea
2.2	Bianca
3.0	Cassandra
3.1	Celena
4.0	Daryna
5	Elyssa
6	Felicia
7	Gloria
8	Helena
9	Isadora
10	Julia
11	Katya
12	Lisa
13	Maya
14 / 14.1	Nadia
15	Olivia
16	Petra
17	Qiana

エディション

エディションとは特定の用途向けにカスタマイズされた Linux Mint のリリースです。このユーザーズガイドは MATE エディションについて書かれたものです。以下に人気のあるエディションを示します:

- MATE エディション (MATE デスクトップを利用)
- Cinnamon エディション (Cinnamon デスクトップを利用)

- KDE エディション (KDE デスクトップを利用)
- Xfce エディション (Xfce デスクトップを利用)

どのエディションを使えば良いかわからない場合は、MATE エディションを使ってください。

注意: アメリカ合衆国や日本で Linux Mint を再配布または商業利用する予定があり、特許法についてよく知らないのであれば、“No Codecs”インストールイメージを利用してください。

手助けを受けられる場所

Linux Mint コミュニティはとても有益で活発です。Linux Mint に関連する質問や問題がある場合は、オンラインで他のユーザから手助けを受けられるでしょう。

まずは“Linux Mint Japan フォーラム”に登録してください。ここはまず最初に手助けを受けられる場所です: <http://forums.linuxmint-jp.net>

他のユーザとおしゃべりをしたければ、IRC チャットルームに接続してください。Linux Mint ではメニューから“XChat”を起動してください。他のオペレーティングシステムや他の IRC クライアントを使っている場合は“irc.spotchat.org”サーバの“#linuxmint-help”や“#linuxmint-chat”に参加してください。

Linux Mint は Ubuntu レポジトリ(詳細は後ほど説明します)を利用し、Ubuntu と完全な互換性があります。このため、Ubuntu 用の多くの資源、記事、チュートリアル、ソフトウェアは Linux Mint でも有効です。一部の問題に関してヘルプが見つからない場合は、Ubuntu に対する同じ問題を検索してください。

注意: Ubuntu とは GNU/Linux を基礎とする別のオペレーティングシステムです。

注意: レポジトリとはソフトウェアを保管し、オペレーティングシステムからソフトウェアのインストールとアップデートを利用可能にするオンラインサービスです。GNU/Linux を基礎とする多くのオペレーティングシステムはレポジトリを利用し、ソフトウェアのインストールとアップデートを行うために HTTP または FTP 経由でレポジトリに接続します。

Linux Mint のインストール

Linux Mint オペレーティングシステムはフリーにダウンロードできます。これは空の DVD に書き込む ISO ファイルとして提供されます。作成したライブ DVD は起動可能でオペレーティングシステムとしての完全な機能を持っているので、PC に影響を与えずに試用できます。簡単に言えば、Linux Mint のシステムを DVD に載せ、DVD からコンピュータを起動させれば、現在のシステムをそのまま残した状態で Linux Mint を試用できるということです。

注意: ダウンロードした ISO イメージを USB メモリやその他のメモリデバイスに書き込んでこれらから起動すること、またはハードディスク上に置いた ISO イメージから起動することもできます。

しかしこれらの方法は やや上級者向けのため、本文に書かれた方法を推奨します。このような方法で Linux Mint をインストールしたり起動させる方法に関するヘルプはフォーラムを参照してください。

ライブ DVD から起動したシステムに満足した場合は、ハードディスクにこれをインストールできます。必要なツール(パーティショニングとインストールに必要なツール)は全て DVD に含まれます。

ISO イメージのダウンロード

注意: ブロードバンド接続でない場合、またはインターネットアクセスが遅い場合は、以下のウェブサイトから DVD を注文してください:

<http://www.osdisc.com>

そうでなければ、以下の Linux Mint のダウンロードページを訪れてください:

<http://www.linuxmint.com/download.php>

その後、必要なエディションを選択してください。

このページには、以下の情報が含まれています:

- MD5 署名
- torrent のリンク

- ダウンロードミラーのリスト

ダウンロードするファイルはISOファイルです。これをダウンロードする方法には2種類あり、torrent (ピアツーピアプロトコルの一種)またはダウンロードミラー(HTTP またはFTP プロトコル)を使います。ダウンロードが終了したら、ISO ファイルのMD5 を使ってISO ファイルが破損していないことを確認してください。

Torrent を使う場合

Torrent とはピアツーピア(P2P)プロトコルです。簡単に言えば、torrent を用いることでISO ファイルを単一のホストからダウンロードするのではなく、インターネットに接続しているさまざまなホストから分割してダウンロードすることになります。

ISO ファイルをダウンロードしている人が多ければ多いほど、ダウンロードスピードは速くなります。このため、Linux Mint をダウンロードする際にはtorrent を使うことが望ましく、これをお勧めします。

Torrent クライアントのインストール

Torrent を用いてファイルをダウンロードするには“torrent クライアント”と呼ばれるソフトウェアが必要です。

Linux 向けのクライアントには“Transmission”があります。Linux Mint の場合、Transmission はインストール済みです。

Windows 向けのクライアントにはVuze があります (<http://azureus.sourceforge.net/>)。

Torrent ファイルのダウンロード

次に、Linux Mint ウェブサイトからtorrent リンクを辿って、.torrent ファイルをダウンロードしてください。このファイルのサイズはとても小さいです。ダウンロードが終わったら、これをtorrent クライアントで開いてください。

torrent クライアントからISO の保存場所を聞かれるかもしれません。適当な場所を選択して、ダウンロードが完了するまで待ってください。

torrent プロトコルに関するより詳しい情報は以下のページを参照してください：
<http://ja.wikipedia.org/wiki/BitTorrent>

ダウンロードミラーを使う場合

torrent プロトコルが使えない、もしくは使わない場合、ダウンロードミラーのリストから適当なミラーを選択してください。クリックすれば ISO ファイル自体がダウンロードされます。

注意: ダウンロード帯域が制限されているため、多くの人が同じミラーからダウンロードすればするほど、このミラーからのダウンロードスピードは遅くなることに注意してください。さらに、何らかの理由でダウンロードが中断された場合、ファイルが破損している可能性があり、ダウンロードは初めから再開されるでしょう。これらの理由から、ダウンロードミラーを使う場合には Linux でも Windows でもダウンロードマネージャを使うことをお勧めします。

リリースノートを読みましょう

ダウンロードには最低でも 1 時間かかるでしょう、この時間を現在ダウンロード中のリリースで追加された新機能について知るための時間として利用してください。

リリースノートは Linux Mint のウェブページで紹介され、これには以下の疑問に対する答えが含まれています:

- このリリースで導入された新しい機能は何か?
- このリリースに対する既知の問題は何か?
- どうすれば以前のリリースからアップグレードできるか?

リリースノートには最新リリースのスクリーンショットが含まれます。もちろん、最新リリースのオペレーティングシステムを利用すればリリースノートの中で強調されている多くの機能に気が付きますが、気が付かない機能があるかもしれません。このため、リリースノートを読むことは重要です。

Linux Mint 17 “Qiana” に対するリリースノートは以下のページを参照してください:
http://www.linuxmint.com/rel_qiana.php

MD5 の確認

リリースノートを読み終わり、ダウンロードが完了したら、すぐにでも新機能を使ったり、Linux Mintを試してみたいかなるかもしれません。でも DVD を作成してマシンを起動する前に少し待ってください！

作成した DVD に欠陥がある場合、変わったバグに遭遇し、解決の難しい多くの問題に遭遇するでしょう。DVD に欠陥を生じさせる主な原因が以下の 2 つです：

- ダウンロード中の問題は ISO ファイルに問題を引き起こします。
- DVD 書き込み中のエラーは Live DVD の内容を破損させます。

ダウンロードページに載っている MD5 署名を使えばダウンロードした ISO ファイルに破損が無いことを確認できます。DVD に書き込む前にダウンロード済みの ISO ファイルが破損していないことを確認して、多くの潜在的な問題を未然に防いでください。

Linux の場合、おそらく md5sum プログラムはインストール済みだと思います。ターミナルを開き、“**cd**”コマンドで ISO ファイルをダウンロードしたディレクトリに移動してください。(例えば、“**linuxmint.iso**”がデスクトップにある場合、ターミナルを開いて以下のように入力してください)：

```
cd ~/Desktop
md5sum linuxmint.iso
```

このコマンドはダウンロードした ISO ファイルの MD5 チェックサムまたは MD5 署名と呼ばれる数字と文字の羅列を出力します。MD5 の設計上 ISO ファイルに少しでも破損があれば MD5 署名は全く違うものになるはずで、これにより、ファイルに破損がないことを確認できます。

出力された MD5 署名と Linux Mint ウェブサイトのダウンロードページに載っているダウンロードした ISO ファイルに対応する MD5 署名を比較してください。2 つの署名が同じであれば、ダウンロード済みの ISO ファイルはオリジナルと完全に同一ということです。これを確認したら DVD への書き込み準備が整ったということです。

Windows の場合、md5sum がインストールされていないかもしれません。md5sum は以下のページから入手してください：<http://www.etree.org/md5com.html>

ISO ファイルと md5sum.exe を同じ場所(ここでは C:\)に置いて“cmd.exe”を起動してください。コマンドライン環境の中で以下のコマンドを入力してください：

```
C:
```

```
cd \  
md5sum linuxmint.iso
```

この後、ウェブサイトに載っている署名と比較してください。

DVD に ISO を書き込む

MD5 で ISO ファイルを確認したら、これを DVD に書き込む準備に入ります。

注意: 700MB CD に適したサイズの Linux Mint イメージも利用できます。DVD を作成できない場合は CD イメージを使ってください。

空の DVD-R (DVD-RW でもかまいませんが、互換性に問題があります)とお好きな DVD 書き込みソフトを用意して、DVD にはラベルを付けてください。DVD にラベルを付けることは重要でないように見えますが、必ず付けるべきです。そのうちラベルが無くて中身の不明なディスクで机が一杯になりますから。:)

空の DVD-R をドライブに挿入し、ISO を書き込む準備を整えましょう。

MATE で Linux を使っている場合、ISO ファイルを右クリックして“Write to Disc”を選択してください。

GNOME や Cinnamon で Linux を使っている場合、Brasero を起動して“ディスクの書き込み”を選択してください。

KDE で Linux を使っている場合、K3B を起動して“Tools”メニューから“Write ISO Image”を選択してください。

Linux を使っていてターミナルを利用したい場合は、ダウンロードした ISO イメージのあるディレクトリで以下のコマンドを入力してください:

```
cdrecord -v -dao dev=1,0,0 linuxmint.iso
```

dev=の後ろの番号は自分のディスクドライブに適切な値に書き換えてください。これを調べるには、以下のコマンドを入力してください。

```
cdrecord -scanbus
```

これらのコマンドを実行するには root 権が必要になるかもしれません。

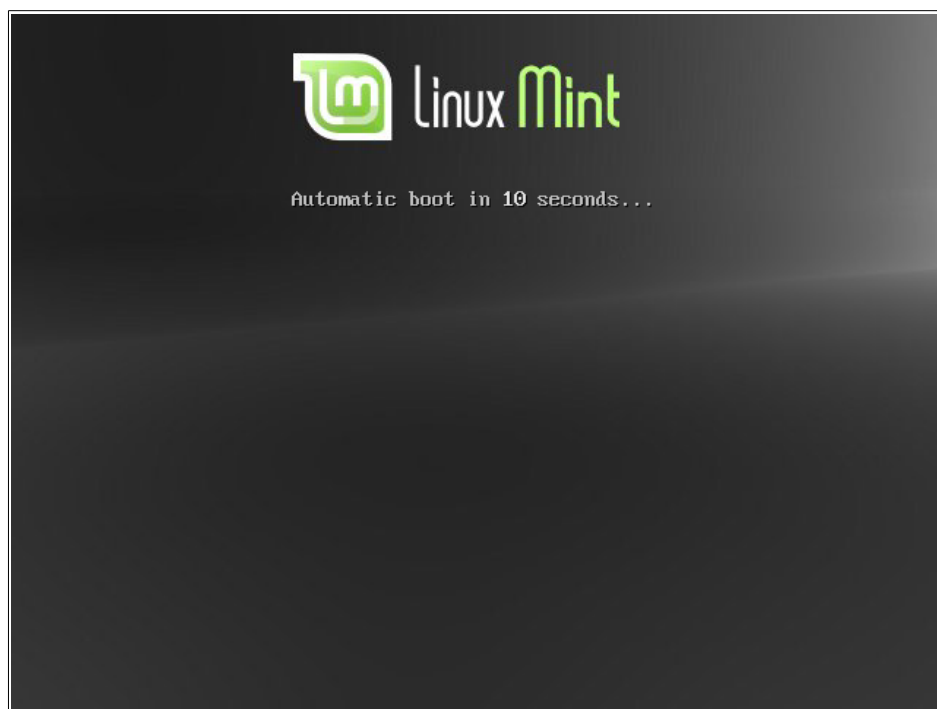
Windows の場合は、例えば InfraRecorder 等のプログラムを利用してください:

http://infraRecorder.sourceforge.net/?page_id=5

注意: ISO ファイルではなく ISO イメージをディスクに書き込むことに注意してください。特に Nero を使っている人は、ISO ファイル自体をファイルとしてディスクに書き込む失敗をよく犯します。ISO ファイルはディスクのイメージファイルなので、ディスク上に見えるファイルとしてではなく、ディスク上にイメージの内容が見えるように展開された ISO イメージとして書き込まなければいけません。DVD への書き込みが済んだらディスク上に ISO ファイルは見えないはずで、その代わりに“casper”や“isolinux”等のディレクトリが見えるはずで、多くの書き込みソフトにはこれを行う専用のオプションがあります。

Linux Mint を Live 起動する

ライブ DVD をドライブに挿れてコンピュータを再起動させてください。以下の画面が表示されるはずで:



注意: この画面が表示されずにいつも通り PC が起動する場合、原因として DVD から起動するように BIOS が設定されていない可能性が考えられます。コンピュータを再起動して、F1、F2、Delete、Escape などの BIOS 設定メニューを表示するキーを押し、BIOS の設定を DVD ドライブから起動するように変更してください。

ハードディスクに Linux Mint をインストール

以下の画面で“Start Linux Mint”オプションを選択し、Enter キーを押してください。



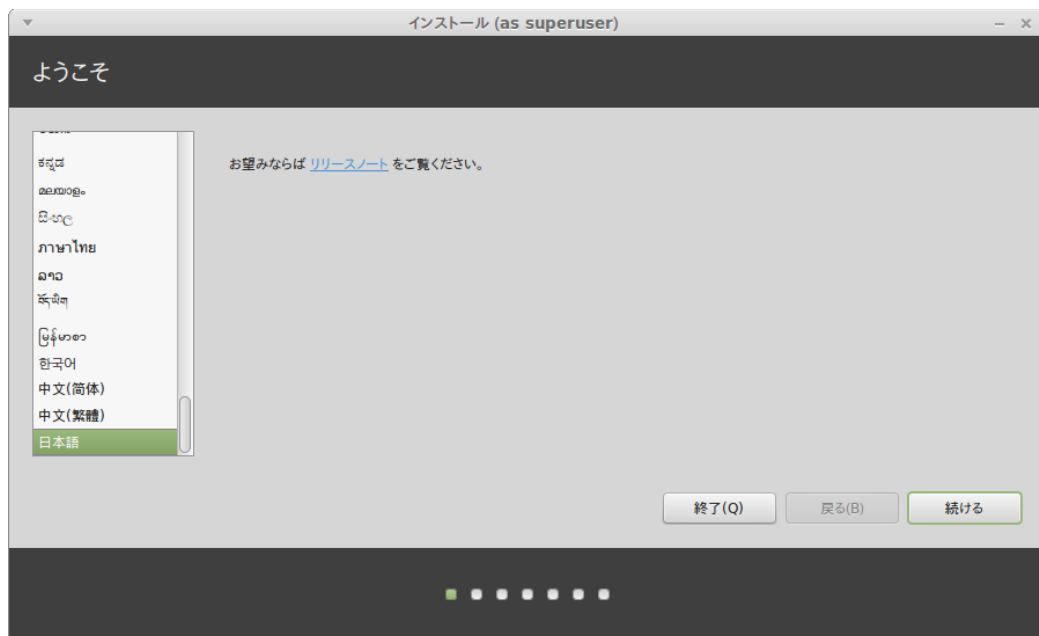
少し待てばシステムが利用可能な状態になり、以下のようなデスクトップが表示されます:



これはメディアから起動している状態で、Linux Mintはまだコンピュータにインストールされていません。しかし、現在起動しているシステムはコンピュータへのインストールが終了した状態とほぼ同一のものです。

これを試用して気に入るか確かめてください。また、ハードディスクドライブに比べて遅いメディアからデータを読み出すため、メディアから起動すると、ハードディスクにインストールした場合に比べてLinux Mintはかなり遅くなることを忘れないでください。

準備ができれば、デスクトップにある“Install Linux Mint”アイコンをダブルクリックしてください。インストーラが起動します：



リリースノートを読んでおらず、インターネットに接続されている状態であれば、絶好の機会なのでここでリリースノートを参照してください。参照するには下線の引かれたリンクをクリックしてください。インストールの前にリリースノートを読むことは、新機能だけでなく一部のハードウェア設定に影響を与える問題に関する情報を事前に得るという意味で、特に推奨されています。

言語を選択して“Continue(続ける)”ボタンを押してください。



この画面では、電源に接続されていること(ラップトップを使っている場合)、インターネットに接続されていること、推奨されるディスク容量があることについて確認されます。その後“Continue(続ける)”ボタンを押してください。

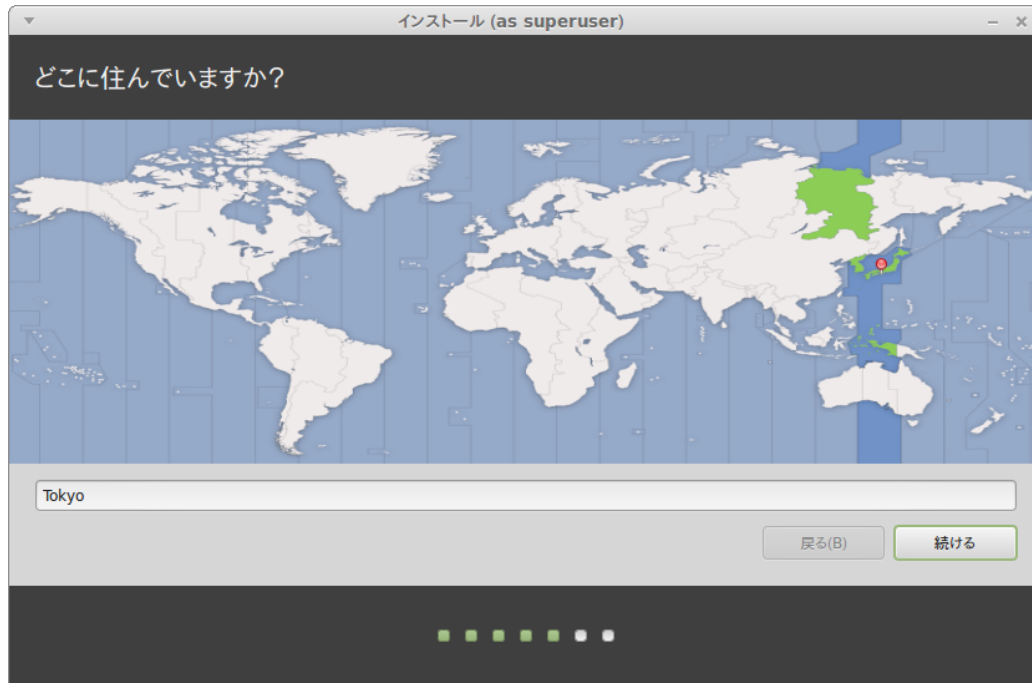


この画面で、ハードディスクの全領域を Linux Mint 用に割り当てるか、他のオペレーティングシステムと共存させるかを選択します。別の選択肢として、手作業でパーティションを割り当てることもできます。

- ディスクの全領域を Linux Mint 用に割り当てる場合、ディスクの内容は削除され、Linux Mint がコンピュータにインストールされているの唯一のオペレーティングシステムになります。
- 他のオペレーティングシステムとの共存を選んだ場合、インストーラは他のパーティションにある利用可能な空き領域を使って Linux Mint 用に新しいパーティションを作成します。インストーラは Linux Mint 用に割り当てる領域のサイズをユーザに尋ね、適当なパーティションのサイズを縮小し、必要なことを全て行います。インストール終了後は、起動時のブート画面に起動可能なオペレーティングシステムが表示されます。
- 手作業でパーティションを割り当てる場合、パーティションエディタが起動し、ハードディスクのパーティショニングを自由に行えるようになります。これは Linux でパーティショニングを行う方法を理解している上級者だけに推奨される方法です。Linux Mint をインストールするには、パーティションのサイズは少なくとも 8GB 必要で、スワップパーティションのサイズはコンピュータで利用可能な RAM サイズの 1.5 倍が推奨されているということに注意してください。

適切なオプションを選択してください。ディスクを削除して Linux Mint をインストールする場合以外は、選択内容が確認されます。準備ができたなら“Install Now (インストール)”ボタンを押してインストールを始めてください。

以降はバックグラウンドでインストールが進行し、この間にインストーラはセットアップに必要な情報を質問します:



地図上から現在地に一番近い都市をクリックしてください。この目的はタイムゾーンの設定です。“Current time” が正しく表示されていることを確認して、“Continue (続ける)”ボタンをクリックしてください。

注意: インストーラが夏時間/冬時間調整を上手く取り扱えないことがあり、正しい都市を選択したにもかかわらず、現在の時間と比較して1時間程度の差があるかもしれません。このような場合は、今のところは無視して、時刻の修正が Linux Mint デスクトップのインストールが終わり再起動した後に必要であることを忘れないでください。



キーボードのレイアウトを選択してください。利用中のキーボードに適したレイアウトがわからない場合、画面の下部にあるテキストフィールドをクリックしてキーボードから適当に入力してください。押したキーとテキストフィールドに入力された文字が一致していることを確認してください。アクセント、数字、句読点だけが異なるレイアウトもあるので、これらの文字について確認することも忘れないでください。

準備ができたなら“Continue (続ける)”ボタンをクリックしてください。



名前、ユーザ名、パスワードを入力してください。Linux Mint を利用するときは毎回このユーザ名とパスワードを持つアカウントを使うことになります。他人がこのコンピュータを利用する場合は、Linux Mint のインストール後にアカウントを追加することができます。

コンピュータ名も入力してください。コンピュータはこの名前をネットワーク上やシステムのいろいろな場所で使います。今までにコンピュータの命名に関して考えたことが無ければ、良い機会です。通常、花(ダリア、バラ、チューリップ)や惑星(火星、木星、冥王星)から名前を取ることが多いです。どのような名前を付けるかは自由ですが、覚えやすく好きな名前を付けてください。

注意: ユーザ名とコンピュータ名では大文字、空白、特殊文字を使えません。

このコンピュータのユーザがあなただけで、ログイン画面を出したくない場合は、“Log in automatically (自動的にログインする)”オプションにチェックを入れてください。

準備ができたなら“Continue (続ける)”ボタンをクリックしてください。

インストーラがコンピュータ上に他のオペレーティングシステムを検出し、個人情報を移行するか尋ねるかもしれません。典型的にはブックマーク、連絡先、お気に入り、その他の個人情報を、ハードディスク上にインストールされたその他のオペレーティングシステムからインストール中の Linux Mint に移行します。



インストールには 10 分から 15 分かかります。

注意: インストーラは選択された言語のサポートに必要なパッケージをインターネットからダウンロードします。コンピュータがインターネットに接続されていない場合はこのステップを“skip”して、インストールが終了して新しいシステムを起動した後に言語のサポートを追加できます。

インストールが完了したら“Restart Now (再起動)”ボタンをクリックしてください。ライブ DVD 環境が終了します。

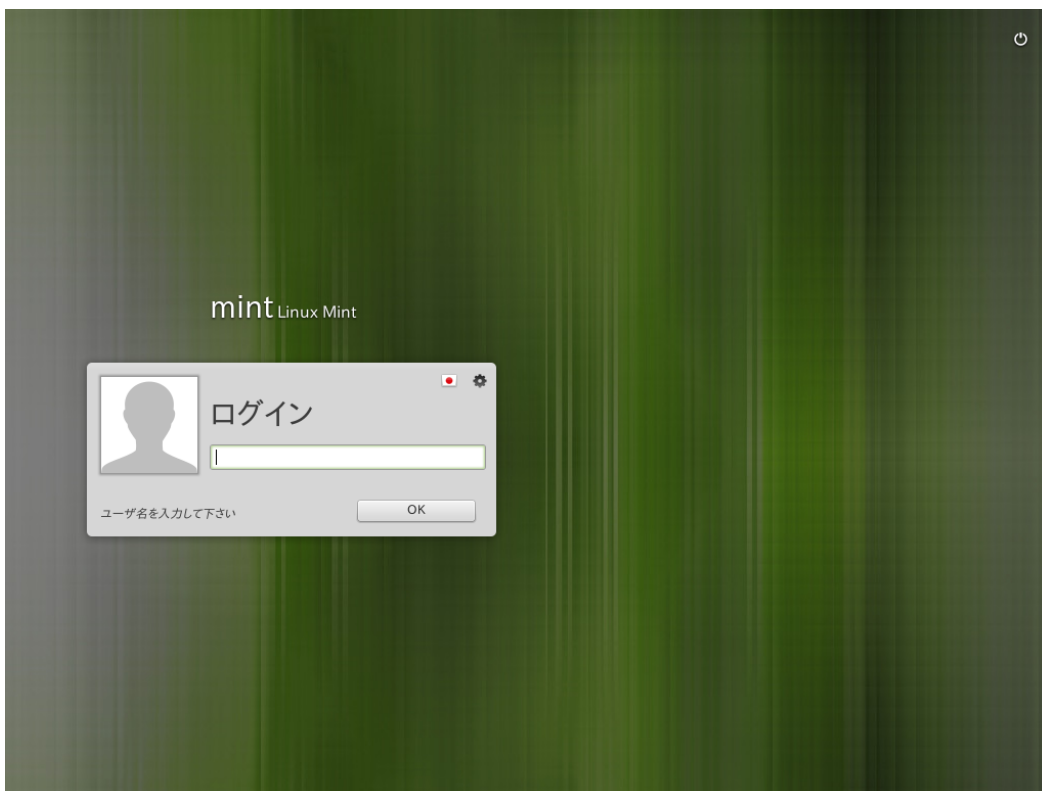
指示されたら、DVD をドライブから取り出して、Enter キーを押してください。

これでハードディスクから Linux Mint を起動する準備ができました。

ブートシーケンス

他のオペレーティングシステムがインストールされている場合、再起動中に“boot menu”が表示されます。

Linux Mint のロードが終了したら、ユーザ名とパスワードを入力する画面が表示されます。この画面は“MDM Login Manager”で、通常“MDM”と呼ばれます。インストール時に設定したユーザ名とパスワードを入力してください。



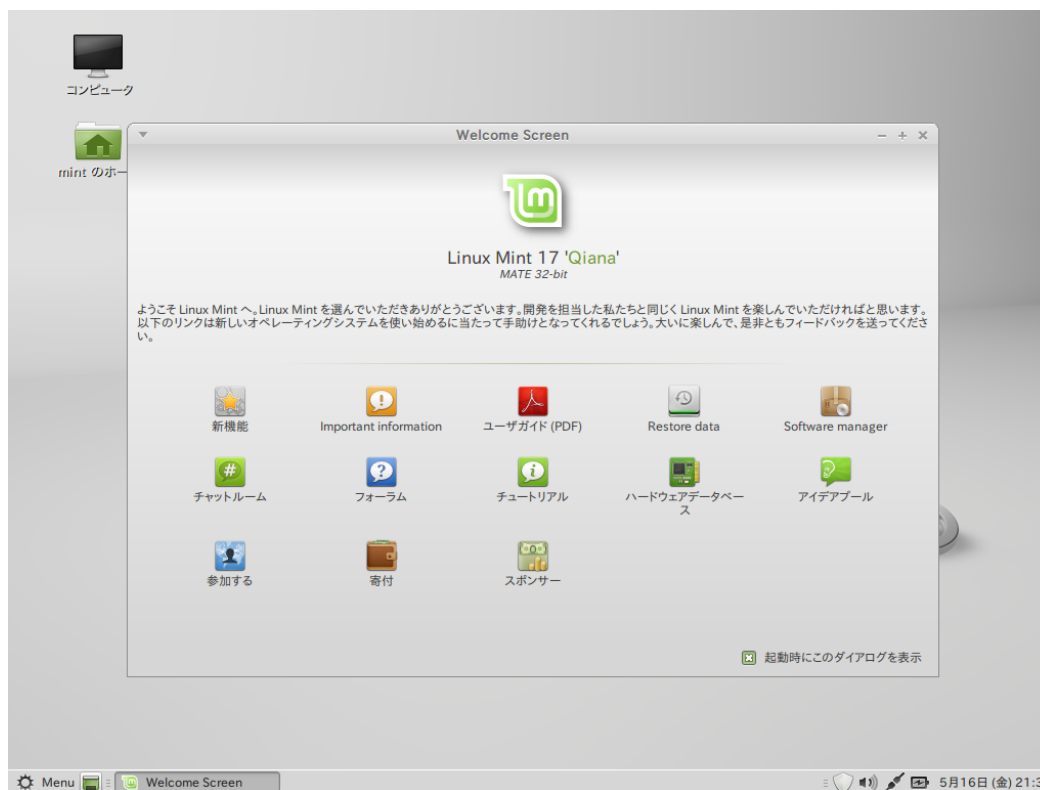
注意: デフォルトでは“root”パスワードはインストール中に設定したユーザ名に対するパスワードと同じです。この意味がわからなくても気にしないでください。

Linux Mint デスクトップ入門

ユーザーズガイドのこの章では Linux Mint 独自の技術とツールに注目し、MATE 版に最初から含まれるいくつかのアプリケーションと技術に関する情報を提供します。

MATE デスクトップ

ここで言う“デスクトップ”とはオペレーティングシステムの一部で、デスクトップ上の構成要素(パネル、壁紙、コントロールセンター、メニュー等)を統括するものです。



Linux Mint の MATE 版には“MATE”デスクトップが搭載されていて直感的で強力な操作性を提供しています。

デスクトップ設定

“Desktop Settings”は Linux Mint 用に開発されたツールで、頻繁に使う MATE デスクトップを素早く設定できます。



これを起動するには“Menu”から(画面の左下部)、“Preferences”を選んで “Desktop Settings”をクリックしてください。

Linux Mint では Linux Mint メニューと呼ばれる特徴的なメニューが利用可能です。このメニューは当初は SUSE が開発した“Slab”メニューに刺激を受けたものでしたが、現在は多くの点でそれとは異なっています。

また、Linux Mint では初期状態の MATE メニューも利用可能で、MATE メニューは Linux Mint メニューと交換することで利用可能になります。この方法は後で説明します。とは言っても Linux Mint メニューについて学ぶことには意味があります。Linux Mint メニューは既存のメニューとは大きく異なりますが、使ってみればきっと気に入ることでしょう。

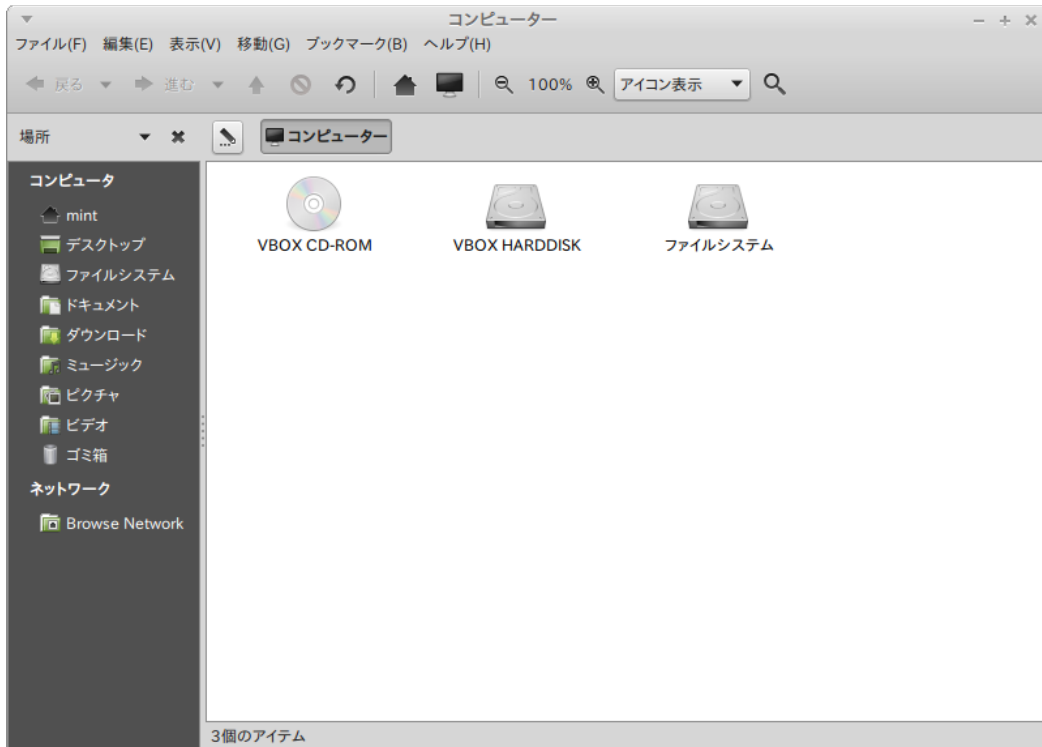
Linux Mint メニューを開くには、画面の左下にある“Menu”ボタンをクリックするか、SUPER_L を押してください(“Super_L”はキーボードの左側の Windows キーです)。

Linux Mint メニューについて

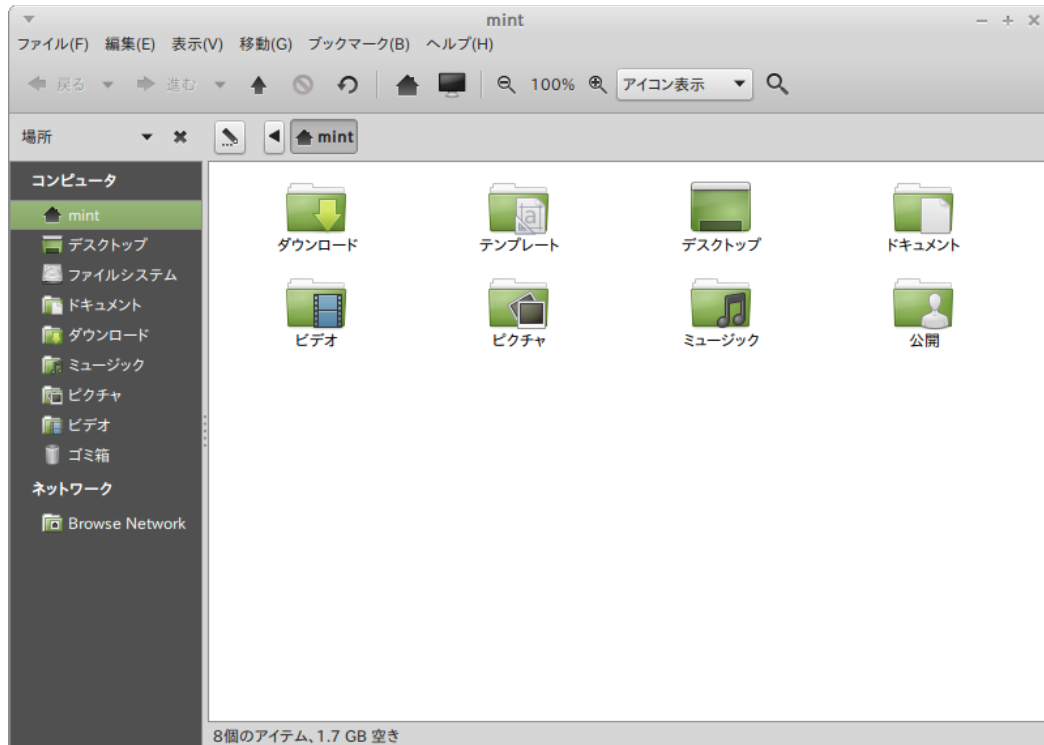
“Places (場所)”メニュー



Linux Mint メニューの左上には5つのボタンを備えた“Places (場所)”と書かれたセクションがあります。これらのボタンを使えば MATE デスクトップ内で最も重要な場所に素早くアクセスできます。



“Computer”ボタンを押すとコンピュータに存在する記憶ボリュームが表示されます。パーティションがマウント済みで“Desktop Settings”でデスクトップ上に“Mounted Volumes (マウントされたボリューム)”を表示する設定になっていれば、ここを頻繁に参照する必要はありません。しかし、デスクトップにマウント済みボリュームを表示しない設定の場合や、デフォルトではマウントされないパーティションをマウントする場合には、ここはとても便利です。



これに対して、“Home (ホームフォルダ)”ボタンは頻繁に使われることでしょう。MATE の使用経験があれば、デスクトップの“Home (ホーム)”アイコンがこれに対応します。デスクトップが完全にウィンドウで隠されている場合、このボタンを使えば“Home”に素早くアクセスできます。

- “Home (ホーム)”フォルダは個人的なデータを保存するための場所です。
- “Desktop (デスクトップ)”フォルダはデスクトップに表示される内容に対応しています。このため、ここに置かれたファイルはデスクトップにも表示されます。同様に、デスクトップにドラッグされたファイルは“Desktop”フォルダにも表示されます。
- “Network”には同じネットワークに接続している他のコンピュータ、共有サービス、ドメイン、ワークグループが表示されます。
- “Trash (ゴミ箱)”は削除されたファイルの移動先です。

ファイルのアイコン上で右クリックすると“Move to Trash (ゴミ箱に移動)”と“Delete (削除)”のどちらか一方が表示されます。“Delete (削除)”を選択した場合、ファイルは永久的に削除され、通常の方法では元に戻すことができません。“Move to Trash (ゴミ箱に移動)”を選択した場合、ファイルは Linux Mint メニューから利用できる“Trash (ゴミ箱)”に移動されます。“Trash (ゴミ箱)”の中にあるファイルは適当な場所にドラッグ&ドロップすれば元に戻ります。Trash (ゴミ箱)の中からファイルを永久的に削除したい場

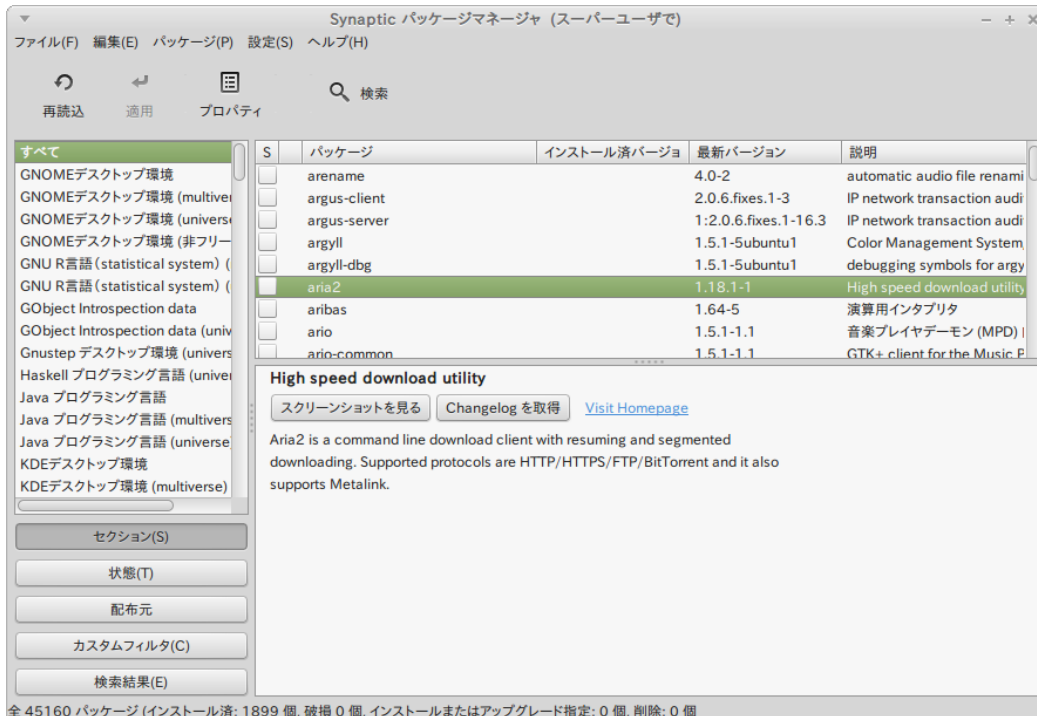
合は、対象のファイルを“Delete (削除)”してください。Trash (ゴミ箱)に含まれる全てのファイルを永久的に削除したい場合は、“Empty Trash (ゴミ箱を空にする)”を選択してください。

“System (システム)”メニュー

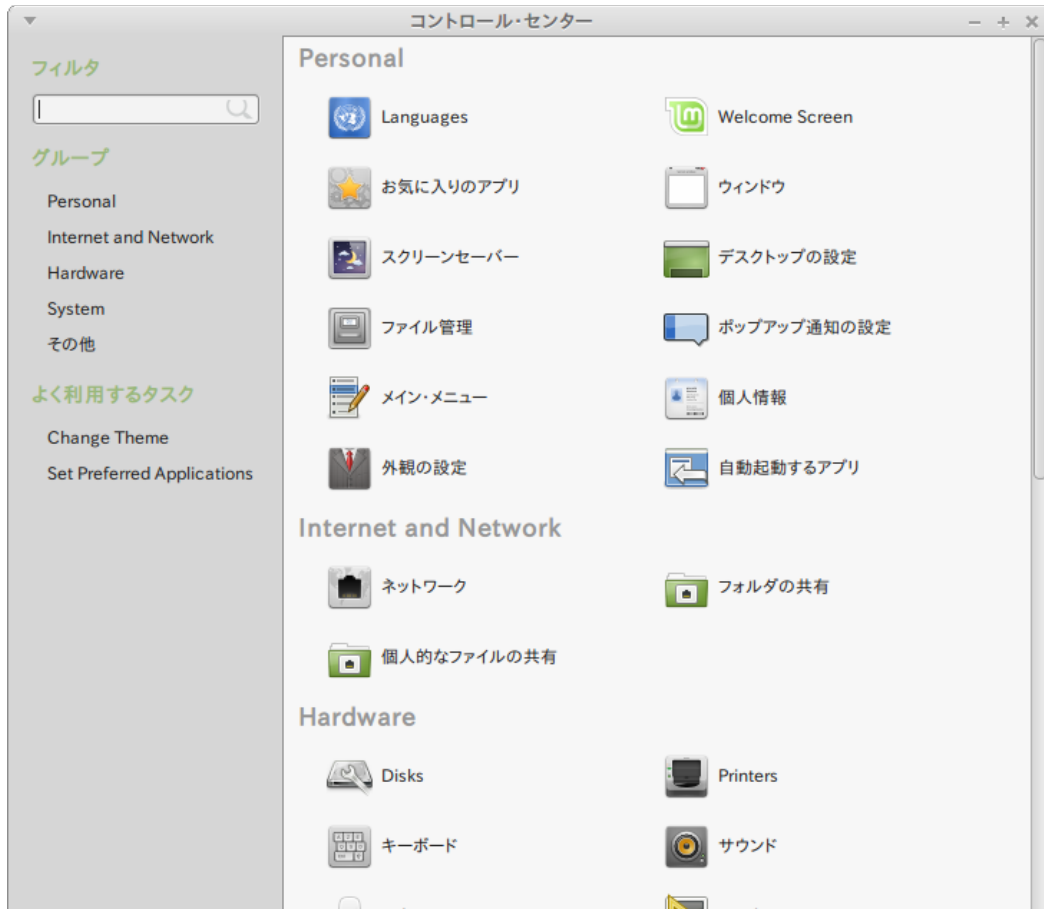
Linux Mint メニューの左下に“System (システム)”セクションがあります。このセクションにはシステムの重要な機能に素早くアクセスするためのボタンが6つあります。



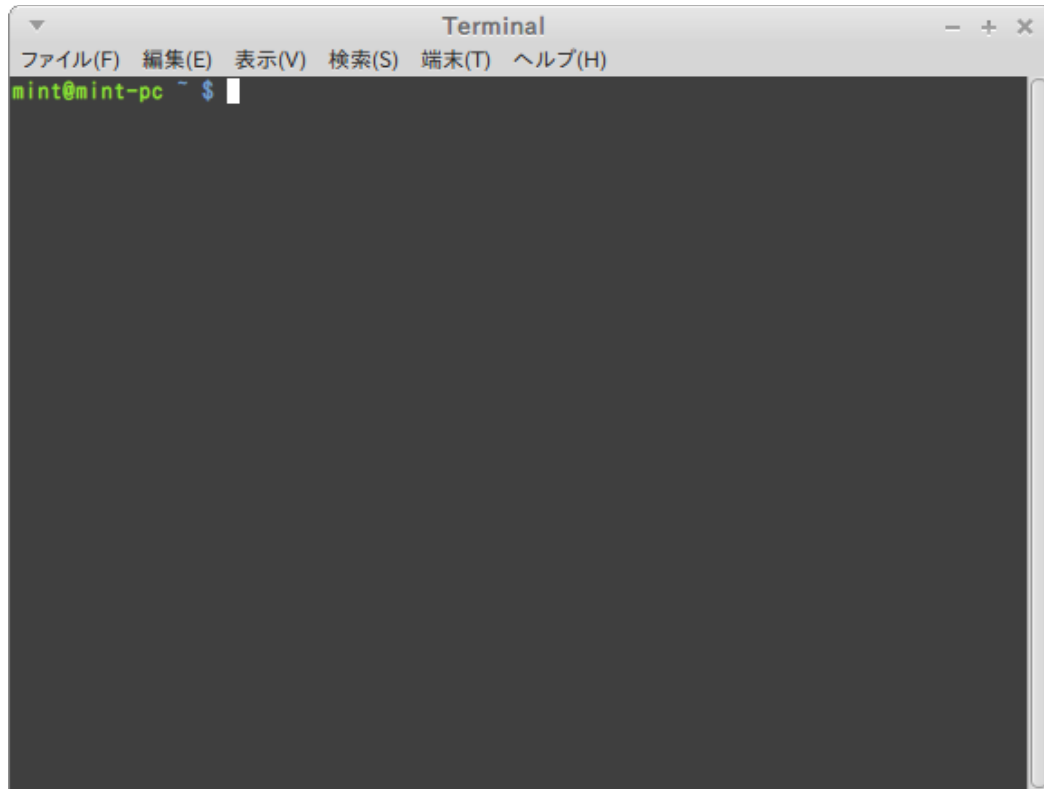
“Software Manager (ソフトウェアマネージャ)”ボタンを押すと Linux Mint Software Manager (ソフトウェアの管理)が起動します。Linux Mint にソフトウェアをインストールする場合はこのプログラムを使うことが推奨されています。この機能の詳しい説明は後にして、今のところは他のオプションを確認しましょう。



“Package Manager (パッケージマネージャ)”ボタンを押すと“Synaptic”と呼ばれるアプリケーションが起動します。これはコンピュータにインストールされたパッケージとレポジトリから利用可能なパッケージを管理するアプリケーションです。何を言っているのか良くわからなくても、気にしないでください。パッケージとパッケージを利用する方法に関する詳しい説明は後で行います。



“Control Center (コントロールセンター)”ボタンを押すと MATE Control Center (コントロール・センター)が起動します。このアプリケーションを使えば、基本的に MATE デスクトップとコンピュータの全ての設定を行うことができます。MATE Control Center のそれぞれの項目に関する説明は後で行います。



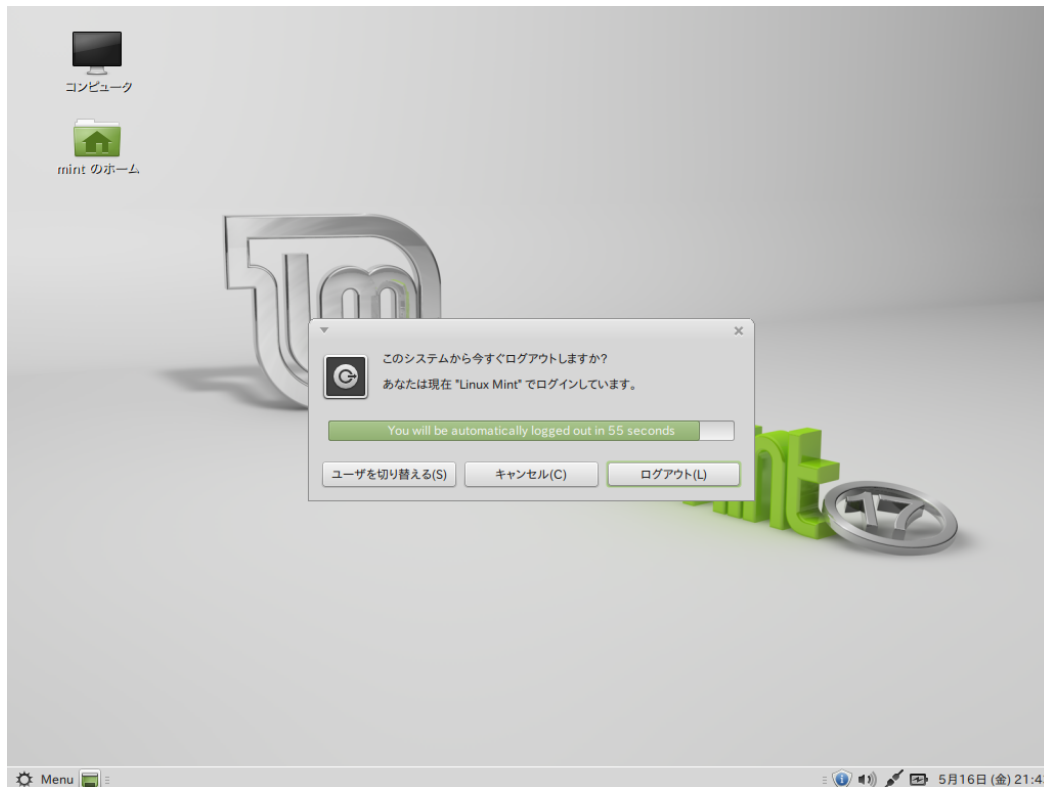
“Terminal (端末)”ボタンを押すとキーボードからコマンドを直接入力できる“Terminal”と呼ばれるアプリケーションが起動します。Microsoft Windows に慣れていている場合、これは時代遅れと感ずるかもしれませぬ。なぜなら Windows ではコマンドラインは“DOS prompt”の時代から進歩が無く、アクセサリメニューからも消えているからです。Linux ではターミナルがとても重要であるということが Windows システムと Linux システムの違いの1つです。ターミナルはコンピュータをより直接的に操作する方法の1つとして利用されます。Terminal は Linux のアプリケーションの中でも最も視覚的に魅力の無いアプリケーションであるという意見には概ね賛成しますが、圧倒的に強力なアプリケーションであり、1回習得すれば使用が苦にならないということも知っておかなければいけません。

実際、グラフィカルなデスクトップ環境を使って実行する全てのコマンドは Terminal を介しているということを知っておくのは大事です。例えば、メニュー上のアイコンをクリックするということは、MATE が Terminal に対してテキストで命令する指令を出していることに対応します。例として、“Control Center” (上を参照)の“Personal”グループから“Main Menu (メイン・メニュー)”を開き、適当なアプリケーションメニューの中から1つアプリケーションを選び、プロパティボタンをクリックしてください。メニューからアプリケーションエントリをクリックした場合には、“Command”フィールドに書かれたテキストコマンドがシステムに渡されます。言い換えれば、おそらく気が

付かないうちに既に何回か Terminal を使っていたということです。これは本質的には同じことで、自分でコマンドを打ち込む代わりに、デスクトップ(MATE)が打ち込んでいたということです(常に数百のアプリケーション名を覚えておきたい人などいないため、これは良いことです)。

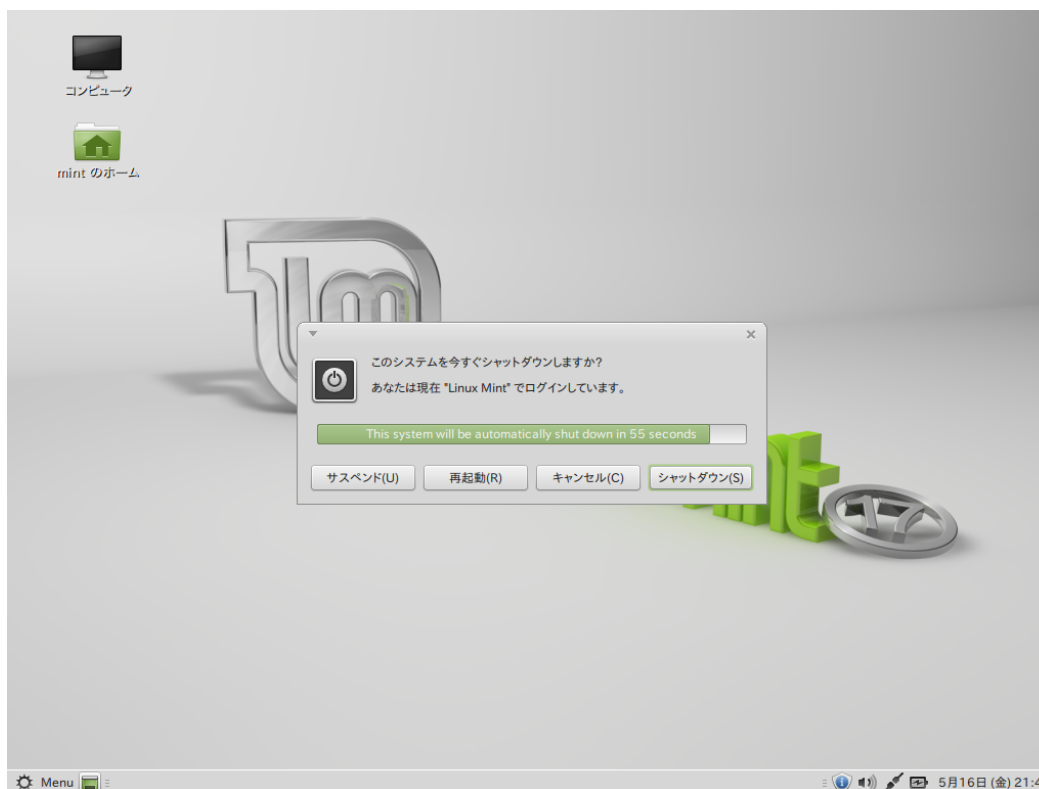
遅かれ早かれ、Terminal を直接利用する状況、例えばグラフィカル・ユーザー・インターフェース(GUI)からは利用できないコマンドを使ったり、より効率的に仕事を行うような状況に直面するでしょう。それでいいのです。一部のタスクにおいてはウィンドウを大量に開くよりも単独のコマンドを打ち込むほうが効率的なこともあります。Terminal は使えば使うほど好きになるものです。子供のころは嫌だったものが今はそれ無しではいられない、そんな経験がありませんか? Terminal とはそういうものです。数週間以内には完全に Terminal の虜になり、コンピュータを完全にコントロールしている気分になることでしょう。今は Terminal を使わなくてもよいですが、使う時が必ず来ます。なぜなら一部のタスクにおいては同じことを GUI を使って行うよりも Terminal を使う方が高速、正確、多機能で実は単純なことがあるからです。さらに、周りの人からは完全なプロだと思われることでしょう。

“Logout (ログアウト)”ボタンを押すとログアウトするかユーザを変更するかを尋ねるダイアログが開きます。



“Quit (終了)”ボタンを押すと以下の選択肢を持つダイアログが開きます:

- “Suspend (サスペンド)”は RAM にセッションを保存し、キー入力があるまでコンピュータをスリープ状態にします。
- “Hibernate (ハイバネート)”はハードディスクにセッションを保存し、コンピュータをシャットダウンします。(訳注:Windows でいうところの「休止状態」にあたりませ)
- “Restart (再起動)”はコンピュータを再起動します。
- “Shut Down (シャットダウン)”はコンピュータを終了します。



Note: 画面をロックするには **Ctrl+Alt+L** を押してください。

“Applications”メニュー

Linux Mint の DVD は圧縮されており実際には 3GB 以上のデータがあります。Linux Mint インストール後の初期状態で導入済みのアプリケーションは“Default Software Selection”の一部と呼ばれます。

Linux Mint の目的の 1 つは簡単に使えて、初期状態でも使えることです。このため、初期状態であっても一般的なタスクや重要なタスクを行うためのソフトウェアは導入済みです。

メニューの右側には全てのインストール済みアプリケーションがカテゴリ分けされ表示されています。最初のカテゴリは“All”で、ご想像の通り、全てのインストール済みのアプリケーションをリストアップします。

最後の 2 つのカテゴリ“Preferences”と“Administration”には Linux Mint の設定と管理を行うツールとアプリケーションが含まれています。これらのアプリケーションは“Control Center”にも表示されています。詳細は後から説明します。

真ん中の5つのカテゴリには日常的に利用するアプリケーションが含まれています。新しいソフトウェアをインストールした場合には新しいカテゴリが追加されることがあります。

“Accessories”には以下のソフトウェアが含まれます:

名称	説明
Calculator	電卓
Character Map	特殊文字を簡単にコピー&ペーストするためのツール(例えばアクセント等)
Disk Usage Analyzer	ハードディスクスペースを取っているファイルを表示するツール
Search for Files...	コンピュータからファイルを検索するツール
Take Screenshot	スクリーンショットを撮るツール。デスクトップのスクリーンショットを撮るにはキーボードの“Print Scrn”キーを押すか、現在のウィンドウのスクリーンショットを撮るには“Alt”+“Print Screen”を押してこのツールを起動してください。
Terminal	ターミナル
Time and Date	時刻と日付の設定
Pluma	テキストエディタ
Tomboy Notes	メモを取るアプリケーション

“Graphics”には以下のソフトウェアが含まれます:

名称	説明
GIMP Image Editor	画像の修正、変換、作成を行うアプリケーション。LinuxにおけるPhotoshopに相当。
LibreOffice Draw	LibreOfficeスイートに含まれるアプリケーション。
Simple Scan	スキャナから画像を取り込むツール
gThumb	写真管理アプリケーション

“Internet”には以下のソフトウェアが含まれます:

名称	説明
Firefox	ウェブブラウザ
Giver	高速なファイル共有ユーティリティ

Thunderbird	電子メールアプリケーション
Pidgin	インターネットメッセンジャー(AIM, Bonjour, Gadu-Gadu, Google Talk, GroupWise, ICQ, IRC, MSN, MySpaceIM, QQ, SIMPLE, Sametime, XMPP, Yahoo, Zephyr に対応)
Transmission	Torrent クライアント
Xchat	IRC チャットプログラム。Linux Mint チャットルームに自動接続されるように設定済みです(他の Linux Mint ユーザと話したいときに便利です)。

“Office”には以下のソフトウェアが含まれます:

名称	説明
Dictionary	辞典(インターネット接続が必要です)
LibreOffice Base	データベースアプリケーション(Microsoft Access の代替)
LibreOffice Impress	スライド作成用のプレゼンテーションアプリケーション(Microsoft Powerpoint の代替)
LibreOffice Calc	表計算アプリケーション(Microsoft Excel の代替)
LibreOffice Draw	画像やロゴなどの作成と編集
LibreOffice Writer	ワードプロセッサ(Microsoft Word の代替)

“Sound & Video”には以下のソフトウェアが含まれます:

名称	説明
Brasero	CD/DVD 書き込みアプリケーション。Brasero はマルチメディアファイルから音楽 CD を作成することも可能です。
GNOME Mplayer	メディアを再生する
Movie Player	多くの動画、音声ファイルを再生するマルチメディアアプリケーション(Microsoft Media Player の代替)
Banshee	オンラインラジオ、インターネットやオンライン音楽サービスからのストリーミング、ファイルコレクションを再生する音楽アプリケーション(iTunes の代替)。ポッドキャストや携帯プレイヤーの管理と CD のリッピングもできます。
Sound Recorder	音声レコーダー
VLC	動画プレイヤー、ウェブから入手可能な動画のほとんどを再生できることで有名です。

“Search”フィールド

メニューの中から特定のアプリケーションを見つける方法を覚えられない場合や、あるアプリケーションをすばやく見つけたい場合は、この機能を使ってください。画面の左下にある“Menu”をクリックし、検索したいアプリケーションの名前や説明を入力してください。

入力中はキーワードにマッチするアプリケーションだけがメニューの中に表示されます。

マッチするアプリケーションが無い場合、メニューにはキーワードに関連する“提案”が表示されます。例えば、“opera”と入力してOpera ウェブブラウザがインストールされていなかった場合、メニューにはインストールボタンやソフトウェアポータルかレポジトリからこれを検索するボタンが表示されます。

お気に入りアプリケーションの登録

あるアプリケーションを他のものに比べて頻繁に使う場合、頻繁に使うアプリケーションを素早く見つけられるようになります。

メニューから“お気に入り”アプリケーションを登録すると、お気に入りアプリケーションは特別なメニューの中に表示されます。

メニューの中で登録したいアプリケーションのアイコンを右クリックして、“Show in my favorites”を選択してください。もしくはメニューの右上にある“Favorites”ボタンにアプリケーションアイコンをドラッグ&ドロップしてください。

メニューの右上にある“Favorites”ボタンをクリックすれば、お気に入りアプリケーションが表示されます(再度“Favorites”ボタンをクリックすれば、全てのアプリケーションが表示されます)。

メニューのお気に入りセクションへの登録エントリが増えたら、エントリを再構成できます。ドラッグ&ドロップで順番を変えたり、右クリックメニューでスペースやセパレータを入れたり、アプリケーションやスペースやセパレータを削除したりすることができます。

ショートカットの作成

“お気に入り”アプリケーションという考え方に馴染めない場合は、同じことがパネルやデスクトップを使っても可能です(つまり、アプリケーションを素早く見つけられれば

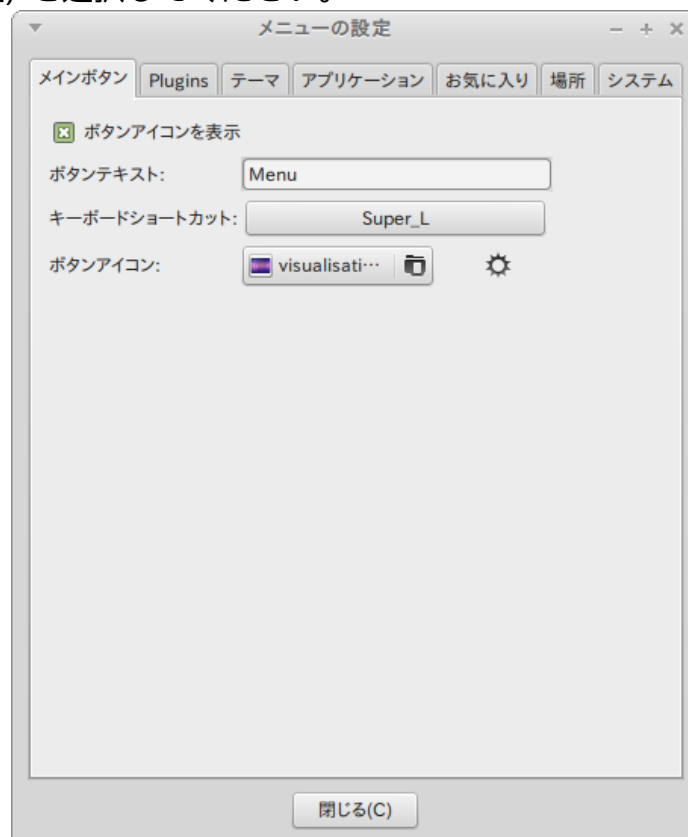
良いのです)。ショートカットを作りたいアプリケーションのアイコンをパネルかデスクトップにドラッグ&ドロップしてください。

ログイン時に自動的にアプリケーションを起動

メニュー上のアプリケーションを右クリックして“Launch when I log in”を選択してください。ログインした後は毎回のこのアプリケーションが起動します。これを止めるには同じことをしてください。

メニューの見た目を変更する

メニューをカスタマイズするには様々な方法があります。“Menu”を右クリックして“Preferences (設定)”を選択してください。



メニューの設定ツールが表示されます。ここから Linux Mint メニューのほとんどの設定を変更できます。ほとんどの設定は変更したらすぐに設定内容が反映されますが、いくつかの設定に対してはメニューの再起動が必要です(メニューの再起動を行うにはメニューボタンを右クリックして“Reload Plugins (プラグインを再読み込み)”を選択してください)。

Recent プラグインの有効化

このメニューは初期状態では有効化されていないプラグインによって提供されます(メニューのサイズが大きくなるため)。このプラグインは最近開いた文書から直近の10個を表示します。

このプラグインを有効化するには、メニュー設定を開いて“Show Recent Documents”を選択してください。

初期設定に戻す

初期設定に戻したい場合、パネル内のメニューボタンを右クリックして、“Remove from Panel”を選択してください。その後、ターミナルで以下のコマンドを入力してください:

```
mintmenu clean
```

その後、パネルの空いている部分を右クリックして、“Add to Panel”を選択してください。

その後、リストの中から“mintMenu”を選択してください。

Linux Mint メニューを初期状態の MATE メニューに変更する

Linux Mint メニューがいかにも素晴らしくても好きになれない場合は、代わりに初期状態の MATE メニューを使いたくなるでしょう。そんな時は以下の手順に従ってください。

パネル内のメニューボタンを右クリックして、“Remove from Panel”を選択してください。

その後、パネルの空いている部分を右クリックして、“Add to Panel”を選択してください。

シンプルな MATE メニューを使いたい場合は“Main Menu”、初期状態の MATE メニューを使いたい場合は“Menu Bar”、気が変わって Linux Mint メニューを使いたい場合は“mintMenu”を選択してください。

ソフトウェア管理

Linux Mint におけるパッケージ管理

初めて Linux をインストールした場合、ソフトウェアを“パッケージ”にまとめるという概念は上手く理解できないかもしれません。しかし、すぐにパッケージ管理について詳しくなり、パッケージがセキュリティ、操作性、使いやすさの観点から好都合なものであることに気が付くでしょう。

Linux Mint 開発チームは、ユーザがインストールの後すぐにコンピュータを使い始められるように、自動的に全てまたは大部分のハードウェアを検出し、自動的にドライバをインストールするようにしています。また、ユーザがウェブサイトからサードパーティ製のソフトウェアを探さなくても多くのことが出来るようにしています。既にご存知かもしれませんが、Linux Mint には初期状態で完全なオフィススイート、プロ用の画像編集ソフト、インスタントメッセージと IRC クライアント、ディスク書き込みソフト、いくつかのメディアプレイヤー(その他の基本的なアクセサリも)がインストールされています。ご心配なく！何も問題はありません！これらは全てフリーソフトです！素晴らしいパッケージ管理ソフトのおかげで、Linux Mint ではシステムに新たなソフトウェアをインストールする際に、ソフトウェアをあちこちから探す必要はありません。

この章ではパッケージの管理方法と、その有用性を説明します。少々長いですが、パッケージ管理の指針とパッケージ管理が GOOD THING (間違いなく良いものを表す場合、Linux ユーザは通常この熟語を大文字で書きます)とされる理由を上手く理解できることでしょう。お急ぎの場合は、パッケージシステムの実際の利用方法を解説している次の章に進んでください。

ソフトウェアベンダーのウェブサイトを巡り、ソフトウェアをダウンロード、インストールする問題点はいくつも考えられます：

- ・ 利用中のオペレーティングシステムでの動作テスト結果を確認することが難しいか不可能です。
- ・ 利用中のシステムにインストール済みのソフトウェアに影響を与えるかどうかを判断することが難しいか不可能です。

- ・ 身元不明の開発者が作成したソフトウェアが、システムに対して意図的または偶発的に悪影響を与えるかどうかを判断することが難しいか不可能です。たとえソフトウェアの詳細と開発者を知っていたとしても、ダウンロードした実行ファイルが悪意ある第三者によってマルウェア等に取り換えられていないことを完全に保証できません。

さらに、管理基盤が無いという点が、複数の異なる開発者が開発した複数の異なるソフトをダウンロードしてインストールする際の問題になります。「全然大したことではない」と言う前に、全ての異なるソフトウェアを最新に保つことを考えてみてください。プログラムが不要になったら削除する方法がわかりますか?そのプログラムは削除方法が無いかもしれませんし、削除方法があっても、大抵の場合ソフトウェアを簡単に完全に削除することはできません。本質的には、インストーラを使うということは、赤の他人が書いたプログラムにコンピュータの操作を委ねるということです。

最後に、通常この様な方法で配布されるソフトウェアは“安定”していることが必要不可欠です。これはつまり、プログラム自体だけでなく、プログラムの起動に必要なライブラリもダウンロードするという事です。なぜなら、サードパーティソフトウェア開発者はシステム上にインストールされたライブラリの種類を知る術が無いからです。全てのライブラリをプログラムと併せて配布することがシステム上でプログラムの起動を保証する唯一の方法ですが、これはつまり、ダウンロードサイズが増えること、このプログラムだけではなくこのライブラリを利用しているプログラムを個別にアップデートしなければいけないこと、を意味します。まとめると、このようなソフトウェアの配布方法を採用としなくても良い多くの作業が必要になります。

一般的に言えば、Linux Mint と GNU/Linux オペレーティングシステムには確立されたパッケージ管理方法があり、このパッケージ管理方法を使うことで上に挙げた問題が全て解決されます。開発チームはこの方法を用いて 1990 年代初頭からソフトウェアを安全かつ自動的にインストールしてきました。

お察しの通り、まずソフトウェアは開発者によって書かれ、開発者側を“upstream”と呼びます。これに対して Linux ディストリビューションのユーザは“downstream”と呼ばれる側にいます(もしあなたが管理者なら、あなたの管理ユーザが downstream の末端にいます。しかしそれはあなたが管理者だからです)。開発者は自分の書いたプログラムまたはプログラムのアップデートの内容に満足した時点で、プログラムのソースコードを公開し、ドキュメントの中でプログラムの開発に利用した他のプログラムやライブラリの種類を解説するでしょう。開発者は時々このような方法でプログラムを配布

し、世の中には個の作業を行う標準的で確立された方法があります。ただし、いくつかの例外があることに注意してください。nVidia や ATI 等の Linux 用ドライバを提供しているハードウェア製造者、Adobe 等の信頼できる一部の大会社はプログラムのソースコード自体を配布します。つまり、プログラムの内容が人間の読める形で提供されています。これにはさまざまな意味がありますが、ここで大事なことは、開発者はインターネット接続できる誰かまたは全員からソフトウェアの内容を調査されても構わないと思っているということです。ソースコードが公開されているソフトウェアに対してスパイウェアを紛れ込ませることは非常に難しいのです！

ソフトウェア開発段階の次のステップはパッケージメンテナが担当しています。パッケージメンテナとは Linux ディストリビューションのために働くボランティアまたは雇用者です。ソフトウェアのソースコードをコンパイルし、ディストリビューションで動作確認を行い、問題を解決し、最終的にコンパイル(コンピュータが理解できる形に)したソフトウェアを使いやすいフォーマットにパッケージ化することが彼らの仕事です。パッケージには実行可能なプログラム、設定ファイル、パッケージ管理ソフトウェアがプログラムを正しくインストールするのに必要な情報が含まれます。そうする必要が無いので、通常のパッケージには静的ライブラリは含まれません-共有ライブラリという名前が示すように、ライブラリは他のパッケージから提供されます。パッケージ管理ソフトはあるパッケージをインストールする前に他のパッケージ(共有ライブラリなど)をインストールすることが必要かということ判断できます。なぜなら、ご存知の通り、ソフトウェアの動作に必要なライブラリと関連するパッケージの情報は開発者から提供されており、パッケージにはこの情報が含まれているからです。これには、互換性を確保するのに必要なパッケージのバージョン等の詳細な情報も含まれています。完成したパッケージは、ソフトウェアレポジトリと呼ばれる特別なファイルサーバにアップロードされます。

ソフトウェアレポジトリとはパッケージマネージャを通してパッケージがダウンロードされる唯一の場所です。パッケージマネージャはソフトウェアレポジトリが本物であることを証明書による署名で確認します。また、インストールするパッケージが本物であることを GPG 鍵による署名で確認します。さらに、ダウンロード中にパッケージが破損していないことをパッケージの MD5 チェックサムで確認します。これはライブ DVD で行ったことと同じです。このようなことは全てパッケージマネージャが行います。ユーザは座って、マティーニ (訳注: ジンをベースにしたカクテルです. 参考:

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%9E%E3%83%86%E3%82%A3%E3%83%BC%E3%83%8B>) を飲みながら、xchat の #linuxmint でおしゃべりをしていけばいいのです。パッケージマネージャがパッケージをダウンロードして、文字通り(コンピュータ

は命令に忠実です)パッケージに含まれるインストール手順書に従って、正しい順番で依存関係を解決します。ヒューマンエラーの起きる余地はありません - パッケージがメンテナのコンピュータで動くのであれば、ユーザのコンピュータでも動くはずです。なぜなら、パッケージマネージャはメンテナと完全に同じ手順でインストール作業を行うからです。

ソフトウェアのアップデートを確認する場合、パッケージマネージャは、インストール済みのパッケージのバージョンとレポジトリから入手可能なパッケージのバージョンを比較して、システムが順調で安全に動き続けるのに必要な作業を行います。例えば BestSoft のバージョン 2.4 がレポジトリにアップロードされ、バージョン 2.3 がシステムにインストールされている場合、パッケージマネージャはバージョンを比較して最新版をインストールします。もちろん、最新版に必要な全ての依存関係の解決も行います。

如何ですか?さらに良いことがあります。

コンピュータが犯さない間違いを人間は犯します。時々このことが状況をさらに悪化させることがあります。間違えて異なったハードウェアに対するドライバをインストールし、何かを壊してしまったとしましょう。良くあることです。または、ソフトウェアにバグがあったり、何らかの理由で開発者がお気に入りの機能をソフトウェアから削除したとしましょう。逆説的ですが、この手の問題はパッケージ管理の長所と安全性を証明することになります。なぜなら、パッケージマネージャはパッケージのインストール時に行った作業内容を詳細に記録しているため、パッケージのアンインストールを簡単かつ完璧に行うことができます。あるパッケージを削除しても他のパッケージには影響が及ばないことが保証されていますし、例えば利用中のバージョンを使い続けたい一部のパッケージに対する自動的なアップグレードを禁止したり、古いバージョンに戻すこともできます。最終的に、全てのインストール手順はとても慎重に検討されます。なぜなら巨大な Linux ユーザコミュニティのメンバーは唯一の共有レポジトリからソフトウェアを入手しているからです。もし何か問題があれば、大騒ぎになることは間違いなく、すぐに修正されるでしょう! これまで見てきた様に、オリジナルの開発者がソースコードを公開した瞬間からディストリビューションのウェブサイトで議論が持ち上がったときまで、GNU/Linux ディストリビューションにおけるソフトウェア配布は信頼に基づいています。入手できるソフトウェアの安全性が高い理由は、安全性に注意して開発されているからではなく、何か問題があったら皆でその解決策を模索するからなのです!

問題とその解決策を再確認しましょう:

- **あるソフトウェアがオペレーティングシステムで動作確認されたことを確認することが難しいか不可能です。**
 - ご存知の通り、レポジトリから入手できるソフトウェアはパッケージメンテナとテストチームによってオペレーティングシステムでの動作が徹底的に確認されています。原則的に言えば、メンテナとテストチームはミスを犯さないように努力していますし、もしミスがあればすぐに多くの連絡を受けることでしょう。
- **あるソフトウェアがシステムにインストール済みのソフトウェアに対して悪影響を及ぼさないことを確認することが難しいか不可能です。**
 - 同様に、パッケージメンテナは担当パッケージがディストリビューションの提供する他のパッケージに悪影響を及ぼさないように全力を尽くしています。もちろん、テスト用マシンに一つ残らず全てのパッケージがインストールされていることは少ないでしょう(通常、パッケージメンテナは一般的な環境を用意するために新規のシステムをインストールし、このマシンで担当パッケージをビルドします)、しかし、ユーザコミュニティの誰かが問題を発見したら、ディストリビューションチームにこの問題を報告し、開発チームは問題を解決するか、少なくとも問題の解決に着手するでしょう。ベータテストとは問題を洗い出すことなので、あなたがベータテスターでもない限り問題に直面することはほとんどありません。
- **あるソフトウェアがシステムに対して意図的または偶発的に悪影響を与えないかどうかを判断し、開発者を信用することは難しいか不可能です。**
 - パッケージメンテナはユーザ(と自分自身)のコンピュータに悪影響を与えるソフトウェアはパッケージ化しません！ よくわかっていて信頼されているソフトウェアだけがレポジトリに収録されます。
- **たとえソフトウェアの詳細と開発者を知っていたとしても、ダウンロードした実行ファイルが悪意ある第三者によってマルウェア等に取り換えられていないことを完全に保証できません。**
 - サーバを管理する団体(通常、一流の学術機関、研究機関、大企業)は通常のセキュリティ対策に加えて、レポジトリとパッケージ自身の同一性を証明書と GPG 鍵で保証します。もし何か問題があれば、パッケージマネージャはユーザに問題の内容を報告します。著者は Linux を使って 10 年になりますが、今までこの手の問題に直面したことはありません。
- **インストール済みのプログラムを(跡形も無く)削除することは難しいです。**

- パッケージ管理ソフトはインストール時に行った全ての操作を記録しているため、過去に行われた全ての操作を遡ることが出来ます。その上、あるパッケージを削除しても他のパッケージに影響を与えないことが保証されています。
- **静的パッケージは巨大で不恰好です。**
 - パッケージ管理を利用しているので、共有ライブラリが無い場合のみ静的ライブラリがダウンロードされます。あるプログラムをインストールする際に、共有ライブラリのインストールが必要になった場合、パッケージマネージャはこれを検知して自動的にインストールを行います。共有ライブラリがダウンロードされるのは1回だけです。なぜなら共有ライブラリはこれを必要とする全てのプログラムに共有されているからです。共有ライブラリを必要としているプログラムが1つも無くなったら、パッケージマネージャは共有ライブラリを削除します。ただし、共有ライブラリを後から利用する等の理由で、これを削除したくない場合には、パッケージ管理ソフトウェアが削除することを禁止できます。
- **まだ確信が持てません。**
 - よろしい！ フォーラムにパッケージ管理に対する不安を投稿するか、そこで他の人の経験を聞いてください。GNU/Linux ディストリビューションにおけるパッケージの安全は信頼に基づいているという点は大事です。そのため、問題があれば、我々はその問題の解決に取り組みたいと思っています！

最後に、Linux は未完成、Linux ユーザはベータテスター、Linux のソフトウェアは不安定等の噂を聞くかもしれません。これらは半分は正解です。他の主要なオペレーティングシステムが“完成”するのと同様に、“Linux”は永遠に“未完成”です。Linux カーネルから画面上のイラストまで、オペレーティングシステムの全ての要素は常にある種の開発段階にあります。なぜなら、プログラマはユーザがプログラミングとハードウェア技術の最新の発展に追従できるように頑張っているからです。これは利用可能なソフトウェアの品質が悪いという意味ではありません。Linux Mint の中核となる基盤システムは約 20 年間にわたって開発され続けており、非常に成熟し、実績も十分です。当然、オペレーティングシステムには多くの不安定版ソフトウェアが含まれますが、ベータテスターでもない限り使わないでしょう。これの読者はベータテスターではありません。ベータテスター用のレポジトリに変更しない限り(テスターになるのは素晴らしい事です)、レポジトリにある利用可能なソフトウェアは常に安定で、徹底的にテストされています。問題が発生し頭を悩ませることはありません、決して。

例を挙げてまとめると、Opera、Real Player、Google Earth 等を Linux Mint にインストールする場合、これらのアプリケーションはオリジナルの開発者 (Opera Software, Real, Google) が提供するものと完全に同一ではないということです。もちろん、upstream アプリケーションはこれらの開発者から提供されていますが、適切にパッケージ化され、テストされてからユーザに届けられるということです。言い換えれば、ソフトウェアを探すためにインターネットを巡る必要は無く、必要なソフトウェアは Linux Mint と Ubuntu チームの手で利用可能な状態にされて、テストもされているのです。ユーザがしなければいけないことと言えば、やりたいことを選択するくらいです。

Linux Mint は Update Manager と呼ばれるツールによって自動的にアップデートされます。これは基盤オペレーティングシステムだけでなく、マシンにインストールされた全てのソフトウェアをアップデートします。

とても簡単ですね！

初期状態で Linux Mint にインストールされない人気アプリケーションには、Opera、Skype、Acrobat Reader、Google Earth、Real Player 等があります。

Software Manager を使う場合

Linux Mint にソフトウェアをインストールする最も簡単な方法は Software Manager を利用する方法です。これは先に解説したパッケージ技術をベースに開発されたもので、さらに理解しやすくなっています。Software Manager はパッケージではなくプログラムをインストールします(とは言っても、裏ではパッケージシステムを利用しているため、同様の恩恵が得られることを忘れないでください)。

メニューを開いて“Software Manager”を選択してください。

Software Manager は Linux Mint で利用可能なソフトウェアを表示します。カテゴリ単位の表示と、キーワード検索、評価と需要を基準にしたソートが可能です。

メニューを使う場合

お目当てのソフトウェアが判っている場合、何も起動する必要はありません。メニューにアプリケーションの名前を打ち込み、インストールしてください。

例えば、“gftp”パッケージをインストールする場合:

- Super_L を押してメニューを開いてください
- “gftp”と打ち込んでください
- “上”矢印を押して“Install gftp”ボタンにフォーカスを移動してください
- Enter キーを押してください

パッケージ管理が素晴らしいことがわかりましたか?

Synaptic と APT を使う場合

1 つ以上のアプリケーションをインストールする場合、または Software Manager の Software Portal に表示されないアプリケーションを探している場合、Linux Mint にはソフトウェアをインストールする方法が 2 種類あります。1 つは“Synaptic”と呼ばれるグラフィカルツールを利用する方法で、もう 1 つは“APT”と呼ばれるコマンドラインツールを利用する方法です。

これらのツールを用いて Opera (Firefox ウェブブラウザの代替)をインストールする方法を見てみましょう:

メニューを開いて“Package Manager”を選択してください。

“Search”ボタンをクリックして“opera”と入力してください。パッケージのリストから Opera ウェブブラウザに対応するパッケージを見つけてください。ボックスにチェックを入れて“Mark for Installation”を選択し、“Apply”ボタンを押してください。

それでは、APT コマンドを用いて Opera をインストールする方法を見てみましょう。

メニューを開き“Terminal”を選択してください。その後、以下のコマンドを入力してください:

```
sudo apt install opera
```

注意: APT を使う前に synaptic が終了していることを確認してください。Synaptic は裏で APT を利用しているため、これらを同時に利用することは出来ません。これは Software Manager でも同じことです。

APTは非常に簡単ですが視覚的ではありません。それでいいのです。Linuxを初めて使う場合、グラフィカルインターフェイスのほうが使いやすいかもしれませんが(だからグラフィカルインターフェイスがあるのです)、しかし時間と共に高速で効率的な方法を好むようになるでしょう。ご覧の通り、Operaをインストールする最速の方法は“apt install opera”と入力する方法です。これはグラフィカルインターフェイスを使うよりも簡単です。

Software ManagerとSynaptic/APTには重大な相違点があります。SynapticやAPTを使う場合はパッケージを操作しているという点です。先に示した例で挙げたOperaというアプリケーションはとても単純で、パッケージ名も“opera”であり、“opera”という名前は他のパッケージで使われていませんでした。しかし、常にパッケージ名がアプリケーション名と同じとは限りませんし、パッケージ名がわからない場合もあるでしょう。時には一部のアプリケーションに対応するパッケージは入手できないこともあるでしょう。

Software Managerは“アプリケーション”をインストールするという点で異なります。これを使うと、適切な“パッケージ”をSynapticやAPTが使うレポジトリ(パッケージデータベース)だけでなく、インターネットからも入手できるようになります。

従って、以下の2つに該当するユーザにはSoftware Managerを使うことをお勧めします:

- APT/Synapticに慣れていないユーザ
- 他のツールではインストールできないアプリケーションをインストールしたいユーザ

アプリケーションの削除

メニューを使う場合

Linux Mint ではとても簡単にアプリケーションを削除することができます。メニューの中から削除したいアプリケーションにマウスカーソルを合わせ、右クリックし、“Uninstall”を選択してください。

削除したいアプリケーションに対応するパッケージと削除したいアプリケーションのインストールに必要なパッケージが表示されます。

“Remove”を選択すればアプリケーションが削除されます。

APT を使う場合

APT を使ってもアプリケーションを削除できます。くどいかかもしれませんが、コマンドラインユーティリティを使う方法は案外簡単です:

メニューから“Terminal”を選択し、以下のコマンドを入力してください:

```
sudo apt remove opera
```

注意: APT を使う前に synaptic が終了していることを確認してください。Synaptic は裏で APT を使っていますので、同時に利用することは出来ません。

これで終了です。たった 1 つのコマンドでコンピュータから Opera を削除することができます。

Synaptic を使う場合

パッケージを削除する際には Synaptic を使うこともできます。Linux では同じことを行う様々な方法があります。この方法を見てみましょう。

メニューをから“Package Manager”を選択してください。

“Search”ボタンをクリックして“opera”を選択してください。パッケージのリストから Opera ウェブブラウザに相当するパッケージを探してください。ボックスにチェックを入れ、“Mark for Removal”を選択し、“Apply”ボタンをクリックしてください。

システムとアプリケーションのアップデート

コンピュータにインストールされたパッケージの新しいバージョンが利用可能になった場合、これをアップグレードすることが出来ます。アップデートはオペレーティングシステムの一部のパッケージに対するセキュリティアップデート、一部のパッケージの最適化、Firefox の新バージョン等の可能性があります。基本的には、システムはパッケージの集合体ですから、パッケージをアップデートすることでシステムのどの部分であってもアップデートできます。アップデートとは現在のパッケージを新しいバージョンに置き換えることを意味します。

アップデートの方法はいくつかありますが、Update Manager を使う以外の方法は推奨されません。

APT を使えば単純なコマンド("apt-get upgrade")で全てのパッケージをアップグレードできますが、この方法は全く推奨されません。なぜならアップデートするパッケージの選択が不可能で、全てのパッケージをアップデートすることを前提としているからです。

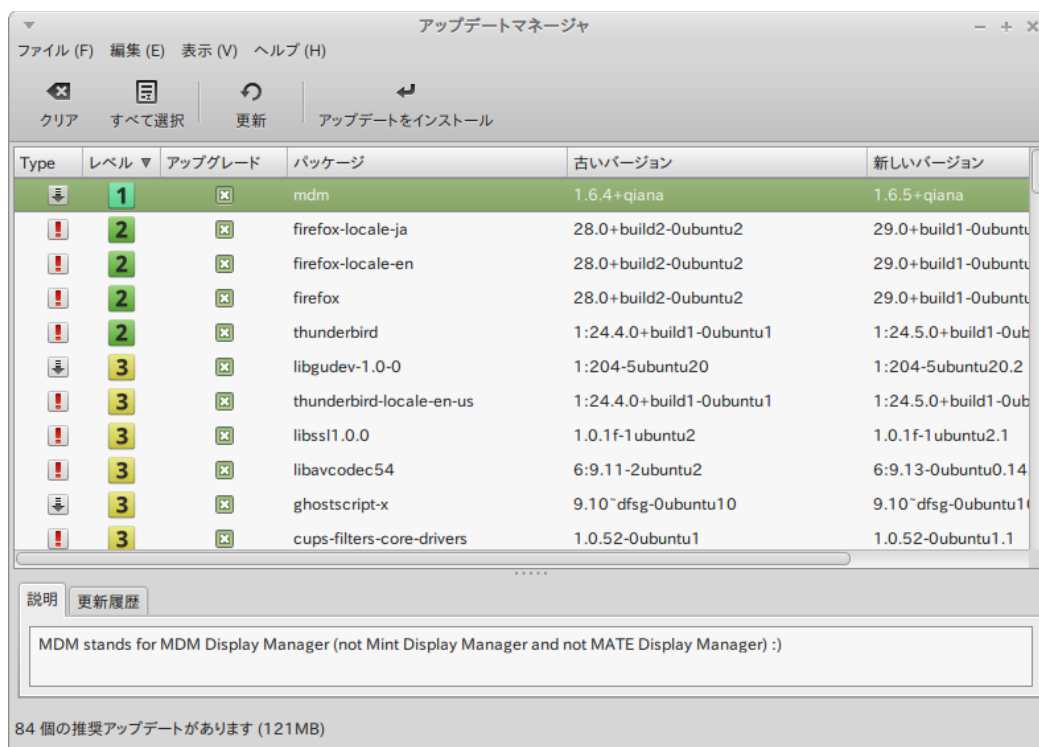
システムに関する一部のパッケージは安全にアップデート可能ですが、そうでないものもあります。例えば、カーネル(特にハードウェア認識を担当)をアップデートすることで、サウンドカードやワイヤレスカードが利用できなくなったり、カーネルに依存する一部のアプリケーション(VMware や Virtualbox)に影響が出る可能性があります。

Update Manager の使い方

Linux Mint には Update Manager と呼ばれるツールが付属しています。これを使うことでアップデートに関する詳細な情報を得られ、アップデートの安全性を事前に確認できます。Update Manager は画面の右下にある盾のアイコンで表されます。

盾のアイコンにマウスカーソルを合わせると、システムが最新の状態になっているかどうかが表示されます。最新の状態になっていなければ、利用可能なアップデートの数が表示されます。

錠前のアイコンをクリックすると、Update Manager は利用可能なアップデートを表示します。インターフェイスの使い方はとても簡単です。それぞれのアップデートに関する説明、changelog (開発者の書いたパッケージ変更内容の説明)、さらに Linux Mint が必要性を認めればそのアップデートに関する警告か追加情報が表示されます。また、現在インストール済みのバージョンとアップデートにより導入されるバージョンが表示されます。さらに、各パッケージに対する安定性レベルが表示されます。それぞれのパッケージアップデートには改良やセキュリティ問題の修正が含まれますが、これの適用で危険が完全に無くなるわけではありませんし、これが新しいバグを作る可能性もあります。各パッケージの安定性レベルは Linux Mint によって指定され、アップデートを適用することがどの程度安定性に影響を与えるかという目安になります。



安定性レベル、状態、パッケージ名、パッケージバージョンでリストを並べ替えることもできます。全てのアップデートを選択するには“Select All” ボタンを、選択解除するには“Clear”ボタンを押してください。

安定性レベル1とレベル2は安全なアップデートなので、必ず適用してください。安定性レベル3は“安全と思われる”アップデートです。開発チームはこれの適用を推奨しますが、アップデートの内容に必ず目を通してください。一部のレベル3アップデートで問題が発生した場合は、Linux Mint 開発チームに連絡してください。開発チームは、

他のユーザに対して問題の生じたアップデートの適用を警告するか阻止するために、このアップデートを調査して安定性レベルを4か5に変更します。



“Preferences (設定)”ボタンをクリックすると、上のような画面が表示されます。初期状態では、Update Manager は安定性レベル1、2、3のアップデートを表示します。ここで安定性レベル4と5の“visible”にチェックを入れると安定性レベル4と5のアップデートも表示されます。必要であれば、安定性レベル4と5のアップデートの“safe”にチェックを入れてください(非推奨ですが)。こうすることで Update Manager は自動的にこれらのパッケージのアップデートを行います。

Update Manager は“safe (安全ですか?)”にチェックを入れたレベルのアップデートだけを確認します。したがって、システムが最新の状態に保たれていると表示された場合、これは“safe”にチェックを入れたレベルのアップデートが無いことを意味します。

Update Manager は“visible (表示しますか?)”にチェックを入れたアップデートだけをリストに表示します。

例えば、全てのレベルの“visible”にチェックを入れ、安定性レベル1と2の“safe”にチェックを入れた場合、多くのアップデートがリストに表示されますが、Update Manager はシステムが最新の状態に保たれていると表示します。

“Auto-Refresh (自動更新)”タブでは Update Manager がアップデートを確認する頻度を設定します。

“Update Method (アップデート方法)”タブでは Update Manager が新しいアップデートを確認する方法を設定します。

“Startup delay”とは Update Manager がインターネット接続を確認する前に待つ時間です。この待ち時間は、Network Manager がコンピュータの起動時に接続を確立するための時間になります。

Update Manager がインターネット接続を確認するために利用するドメイン名を設定することもできます。Update Manager はアップデートを検索する前にこのドメインに対して ping を行います。

“Include dist-upgrade packages”オプションは Update Manager が新しい依存パッケージをインストールすることを許可するか禁止するかを設定します。例えば、パッケージ A のバージョン 1 がコンピュータにインストール済みで、パッケージ A のバージョン 2 が利用可能になったとします。しかし、バージョン 2 では新たにコンピュータにインストールされていないパッケージ B が必要になった場合どうなるでしょうか？

このオプションが無効化されている場合、バージョン 2 はアップグレードリストに表示されません。

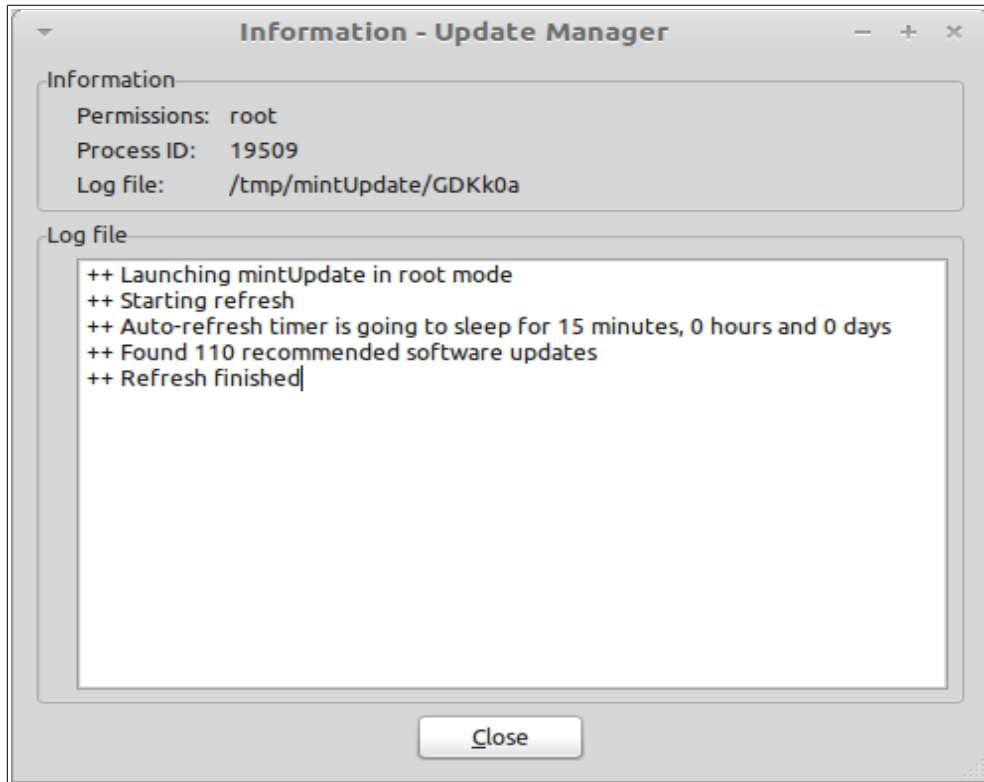
このオプションが有効化されている場合、バージョン 2 はアップグレードリストに表示され、バージョン 2 をインストールする場合には依存関係のあるパッケージ B もインストールされます。

このオプションを有効化すると、新しい依存関係を持つパッケージが意図せずにインストールされるだけでなく、依存関係の無くなったインストール済みのパッケージが削除されることにも注意してください。

“Ignored packages (無視されたパッケージ)”タブでアップデートを適用しないパッケージを選択します。“?”や“*”のワイルドカードを使うことができます。

“Icons (アイコン)”タブでシステムトレイに表示される Update Manager のアイコンを変更します。

Update Manager でエラーが出た場合は(例えば“Can't refresh list of packages”)、ログを確認してください。システムトレイにある錠前のアイコンを右クリックして“Information”を選択してください。以下の画面が表示されます:



この画面に Update Manager のプロセス ID、特権(ユーザまたは root)、ログファイルの内容が表示されます。

システムに対するアップデート(Update Manager を使ったアップデート)の適用履歴を確認するには“View->History of Updates”をクリックしてください。

ヒントとテクニック

デスクトップを十分に活用していますか? テキストをコピーする際にキーボードから“Ctrl+C”と入力していませんか? ちょっとしたメモを取るのにわざわざテキストエディタを起動していませんか? どうやって友人とファイルをやり取りしていますか? これらの単純なタスクを片付けるには色々な方法がありますが、世の中には他の方法に比べて手際良くタスクを片付けられる方法があります。この章では、ユーザがデスクトップを最大限に活用するために必要な Linux、MATE、Linux Mint デスクトップに特有の機能をご紹介します。

マウスを使ったコピー&ペースト

多くの人はテキストのコピーをする際に、コピーしたいテキストを選択した後に“Edit”メニューを使ったり、右クリックを使ったりします。同様の操作を行えば Linux Mint でもテキストをコピーできますが、多くの GNU/Linux オペレーティングシステムではマウスを上手に使ってコピー&ペーストを行います。その方法を紹介しましょう: マウスの左ボタンによるドラッグでコピー、中央ボタンでペーストです。簡単ですね!

早速やってみましょう。LibreOffice Writer、テキストエディタ、テキストが入力できるお好きなアプリケーションのどれかを起動してください。起動したら適当な文章を入力し、入力したテキストの一部をマウスの左ボタンを使って選択してください。ここで“Edit”メニューから“Copy”をクリックしたくなりませんか? もしくは“Ctrl+C”等のキーの組み合わせを入力すると思いませんか? Linux ではもっと単純です。テキストを選択するだけで、選択されたテキストのコピーは完了しています。そうです、選択されたテキストは自動的に“マウスバッファ”にコピーされているため、他の作業はいらないのです。

次に文書の別の部分をマウスでクリックし、テキストカーソルを移動させてください。さらにマウスの中央ボタンをクリック(ホイールマウスをお使いの場合はホイールをクリック、2 ボタンマウスをお使いの場合は左右のボタンを同時クリックと、Mac 用の 1 ボタンマウスを除けば思い通りの操作を)してください。先ほど選択したテキストがペーストされたことがわかります。

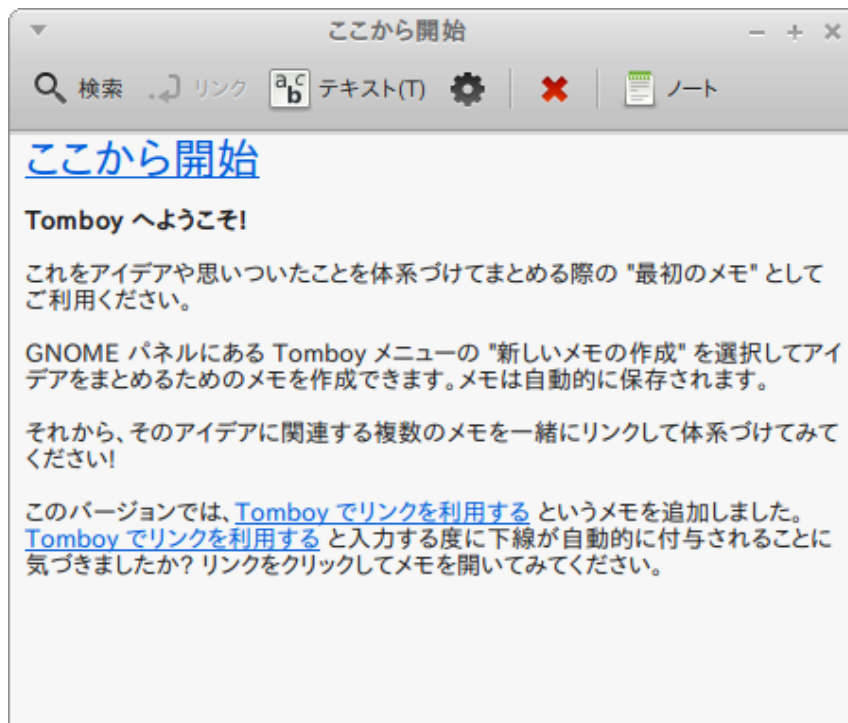
この操作に慣れれば慣れるほど、テキストをコピー&ペーストする操作を素早く行えるようになります。このテクニックはほとんどの Unix と GNU/Linux オペレーティングシステムで使えます。

注意: ここで説明したマウスバッファは MATE デスクトップがコピーに利用するバッファとは異なります。そのため、マウスを使うコピーと“Ctrl+C”または“Edit”メニューを使うコピーとで別々のテキストをバッファにコピーできます。このおかげで同時に2つのテキストをコピーすることが可能になります。それぞれのバッファから内容をペーストするにはマウスの中央ボタンを使うか、“Ctrl+V”または“Edit”メニューを使ってください。

Tomboy を使ってメモを取る

人は皆メモを取ります。その内容は電話で聞いたアドレスや、増え続ける TODO リストや、忘れてたくない情報かもしれません。このようにちょっとしたメモを取ることは良くあることです。コンピュータの周りに書き込んだ大量のメモが邪魔をして使いたいときにペンを見つけられない人もいれば、メモを取るツールの起動に時間がかかって時間を無駄にする人もいます(例えば LibreOffice Writer でメモを取るのは不便です)。メモを取ることに特化した専用ソフトを利用するのは限られた少数の人だけです。幸いなことに、Linux Mint にはメモ専用ソフトがインストール済みです。これは Tomboy Notes と呼ばれています。

Tomboy Notes はとても使いやすいツールです。アイコンをクリックすればメモの一覧が表示されます。新しいメモを作成する場合は“Create New Note”をクリックしてください。



新しいメモが表示されます。タイトルを変更するとメモの名前も変更されます。好きなことを書いてメモを閉じます。メモの内容を確認するには Tomboy Notes を起動してください。メモを保存する必要もありませんし、コンピュータの再起動や終了をしても大丈夫です。繰り返しになりますが、メモの内容は書くと同時に自動的に保存されます。

あるメモが不要になったら、不要になったメモを開いて“Delete”ボタンを押すことで削除できます。

メモの中に他のメモに付けたタイトルを書き込むと自動的にリンクが貼られます。リンクをクリックすればその名前を付けられたメモが表示されます。

メモのフォーマットオプションの変更や Tomboy Notes のさまざまな機能が利用できます(同期、検索、PDF/HTML 形式でメモのエクスポート等)。

終わりに

一般的に言えば、Linux Mint と Linux について学ぶべきことはまだまだたくさんあります。これで全てというわけではないのです。このユーザズガイドではデスクトップに関連するいくつかの重要な機能を説明しました。そろそろ Linux Mint デスクトップを使いこなせるようになり、いくつかの機能について深く理解してきたのではないのでしょうか。次に何をすべきでしょうか? ターミナルの使い方を勉強しますか? 他のデスクトップ(Cinnamon、KDE、Xfce 等)を試してみますか? 何をするのもあなた次第です。でも忘れないでください。Linux は楽しいもので、Linux コミュニティはユーザを助けるためにあります。毎日少しずつ時間をかけて勉強してください。どれだけ貴方が Linux について詳しくなってもやはり常に新しい発見があります。

Linux を楽しんでください、そして Linux Mint をお選び頂きありがとうございます。